

令和3年第3回（9月）上越市議会定例会

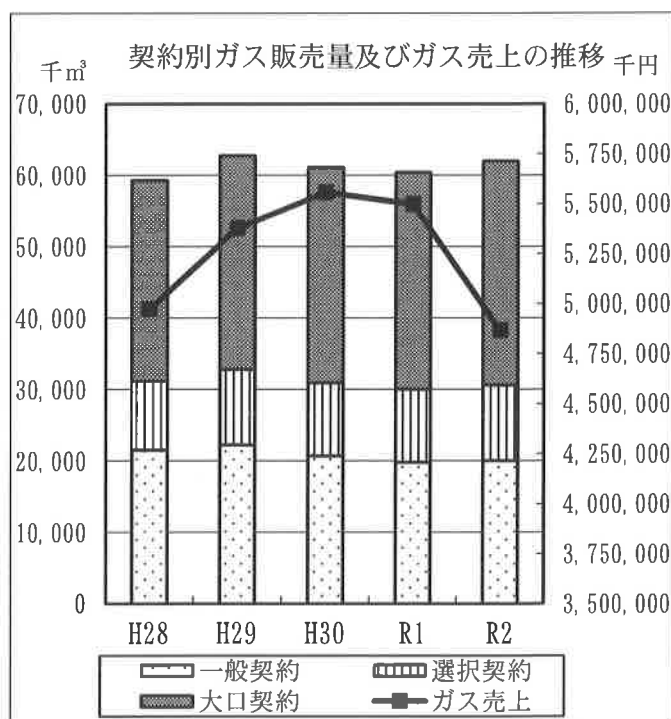
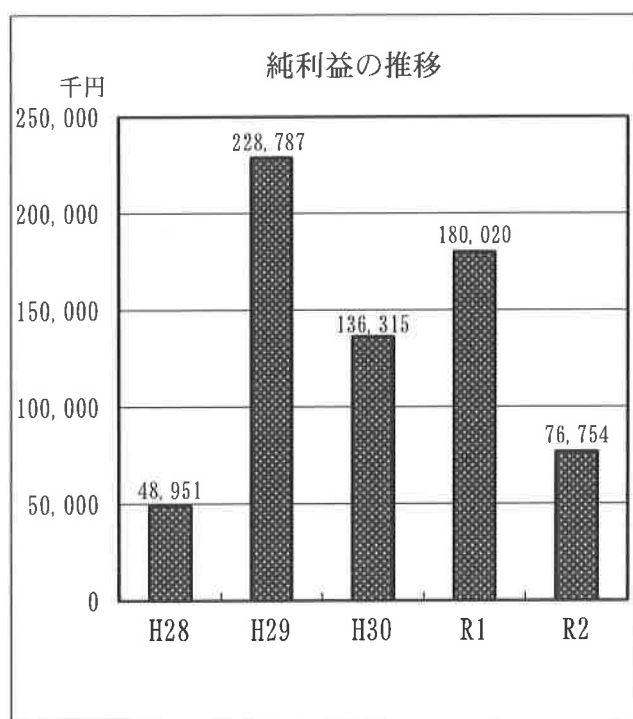
農政建設常任委員会資料

案件番号	案 件 名	提 出 課	ページ
議案第77号	令和2年度上越市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	経営企画課	1～33
議案第78号	令和2年度上越市水道事業会計決算認定及び利益の処分について		34～69
議案第79号	令和2年度上越市工業用水道事業会計決算認定について		70～75

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第77号
提出課	経営企画課

令和2年度上越市ガス事業会計決算の概要

- ガス販売量は、冬期間の平均気温が前年に比べ低く推移し、家庭用及び官庁・学校用の暖房需要が増加したことなどから、前年度に比べ161.7万 m^3 （2.7％）増加の6,200.5万 m^3 となった。
- 収益的収支では、ガス販売量は前年度より増加したものの、液化天然ガス輸入価格の下落に伴う原料費調整額の減少に加え、4月からの料金値下げにより、ガス売上は前年度に比べ6億3,262万円（11.5％）減少した。また、支出では、管路更新などに伴う固定資産除却費が2,598万円（172.4％）増加したものの、収入と同様に液化天然ガス輸入価格の下落により原料ガス費が5億1,050万円（14.3％）、法定耐用年数の経過に伴う減価償却費が5,187万円（3.6％）減少したことなどから、当年度純利益は前年度に比べ1億326万円減の7,675万円となった。
- 資本的収支では、災害発生時における供給停止範囲を最小限にし、復旧を迅速に行うためのガス管網のブロック化に向け、整圧器室の新設及び細分化した復旧ブロックにバルブを設置し、ガス導管網の整備を進めた。このほか、平成30年度に経年管更新事業及び低圧導管耐震化事業が完了し、管路耐震化率は他工事と関連して実施する箇所を除き100％になったことから、下水道工事など他の工事に合わせ、より耐震性に優れたポリエチレン管などへの更新を行った。
- 令和元年度に着手した庁舎新築工事が令和2年10月に竣工し、11月24日から業務を開始した。新庁舎内には今後の都市ガス営業の拠点とするための体感型ショールーム「ガステラス」を設置し、新築やリフォームを検討されるお客さまに都市ガスの利便性や安全性のPRを行い、都市ガスの採用拡大に向けた情報発信を進めていく。



※選択契約は、一般契約と大口契約以外の契約

1 業務の概要

◇供給戸数は、0.1%増加。ガス販売量は家庭用及び官庁・学校用の暖房需要が増加し、前年度に比べ161.7万 m^3 （2.7%）増加

（都市ガス）

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 行政区域内戸数	74,588	75,063	75,483	75,904	76,546	642	0.8%
2 供給区域内戸数	55,653	56,156	56,469	56,978	57,704	726	1.3%
3 供給戸数	46,486	46,541	46,597	46,721	46,770	49	0.1%
4 普及率	83.53	82.88	82.52	82.00	81.05	△ 0.95	-
5 年間ガス購入量	59,517,491	62,808,548	61,170,668	60,476,131	62,089,339	1,613,208	2.7%
6 年間ガス送出量	59,501,444	62,832,801	61,175,908	60,469,577	62,085,965	1,616,388	2.7%
7 年間ガス販売量	59,266,094	62,761,029	61,116,046	60,387,731	62,005,206	1,617,475	2.7%
8 一日最大送出量 (一日最大月日)	288,679 (1/24)	300,746 (1/24)	292,343 (2/13)	288,441 (2/6)	310,648 (1/8)	22,207	7.7%
9 一日平均送出量	163,018	172,145	167,605	165,217	170,099	4,882	3.0%
10 一日平均販売量	162,373	171,948	167,441	164,994	169,877	4,883	3.0%
11 有効率	99.89	99.94	99.96	99.92	99.93	0.01	-
12 職員数	50	49	49	49	48	△ 1	△ 2.0%

※年度間の実質的な比較を行うため、平成28年度の購入量、送出量及び販売量については、現在の標準熱量の45.0MJに換算した数値で表記

（液化石油ガス）

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 供給戸数	179	178	174	170	168	△ 2	△ 1.2%
2 年間ガス送出量	12,695	12,844	12,567	11,999	11,990	△ 9	△ 0.1%
3 年間ガス販売量	13,396	13,138	12,632	12,047	12,239	192	1.6%
4 一日平均送出量	35	35	34	33	33	0	0.0%
5 一日平均販売量	37	36	35	33	34	1	3.0%

※送出量・販売量などは、標準熱量100.4652MJでの数値

2 決算の概要 ※消費税及び地方消費税抜きの金額

(1) 収益的収支

単位：千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収 入	営業収益	4,972,991	5,377,801	5,557,723	5,498,140	4,865,516	△ 632,624	△ 11.5%
	ガス売上	4,972,991	5,377,801	5,557,723	5,498,140	4,865,516	△ 632,624	△ 11.5%
	営業雑収益	237,542	263,318	280,195	319,357	274,661	△ 44,696	△ 14.0%
	附帯事業収益	8,827	8,148	6,689	5,272	5,246	△ 26	△ 0.5%
	営業外収益	577,041	501,595	458,184	418,802	406,003	△ 12,799	△ 3.1%
	繰入金	5,946	5,434	4,502	3,892	3,565	△ 327	△ 8.4%
	長期前受金戻 の他 の営業外収益	514,914	461,528	416,528	377,402	366,732	△ 10,670	△ 2.8%
	56,181	34,633	37,154	37,508	35,706	△ 1,802	△ 4.8%	
	特別利益	129	0	0	0	0	0	0.0%
収入計	5,796,530	6,150,862	6,302,791	6,241,571	5,551,426	△ 690,145	△ 11.1%	
支 出	営業費用	5,425,704	5,590,854	5,820,474	5,691,397	5,148,179	△ 543,218	△ 9.5%
	原料ガス費	3,003,158	3,194,371	3,510,110	3,571,600	3,061,098	△ 510,502	△ 14.3%
	職員給与費 (うち退職給付費)	309,600	302,326	312,515	325,732	318,877	△ 6,855	△ 2.1%
	(0)	(0)	(16,628)	(27,974)	(24,473)	(△ 3,501)	△ 12.5%	
	修繕費	97,761	77,618	103,799	94,164	95,614	1,450	1.5%
	動力費	430	313	289	299	289	△ 10	△ 3.3%
	委託料	163,619	166,130	157,088	166,319	157,593	△ 8,726	△ 5.2%
	減価償却費	1,669,219	1,615,170	1,531,483	1,437,960	1,386,082	△ 51,878	△ 3.6%
	その の他 の営業費用	181,917	234,926	205,190	95,323	128,626	33,303	34.9%
	営業雑費用	229,637	251,938	273,139	310,563	270,389	△ 40,174	△ 12.9%
	附帯事業費用	5,617	7,815	5,972	4,432	3,163	△ 1,269	△ 28.6%
	営業外費用	86,578	71,382	65,745	55,093	49,210	△ 5,883	△ 10.7%
	支払利息	78,258	70,049	62,085	54,823	48,286	△ 6,537	△ 11.9%
その の他 の営業外費用	8,320	1,333	3,660	270	924	654	242.2%	
特別損失	43	86	1,146	66	3,731	3,665	著増	
支出計	5,747,579	5,922,075	6,166,476	6,061,551	5,474,672	△ 586,879	△ 9.7%	
収支差引(純損益)	48,951	228,787	136,315	180,020	76,754	△ 103,266	△ 57.4%	

(2) 資本的収支

単位：千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収 入	補助金	0	0	0	2,241	29,757	27,516	著増
	工事負担金	115,740	156,288	242,008	241,506	208,071	△ 33,435	△ 13.8%
	固定資産売却収入	666	8	39	23	121,569	121,546	著増
	収入計	116,406	156,296	242,047	243,770	359,397	115,627	47.4%
支 出	建設改良費	1,129,799	977,638	1,041,091	955,619	1,327,729	372,110	38.9%
	(うち職員給与費)	(72,908)	(76,434)	(75,362)	(73,204)	(74,988)	(1,784)	(2.4%)
	土地	0	0	0	0	4,041	4,041	皆増
	建物	841	10,731	42,068	60,773	558,686	497,913	819.3%
	構築物	0	2,505	0	0	3,306	3,306	皆増
	機械装置	9,183	6,097	145,286	0	3,775	3,775	皆増
	車両運搬具	0	1,135	6,338	2,427	3,075	648	26.7%
	工具器具備品	13,671	17,844	6,171	7,777	24,770	16,993	218.5%
	ガスメーター	13,628	14,000	12,107	14,255	8,675	△ 5,580	△ 39.1%
	導管本支管	958,242	776,222	663,041	662,836	545,146	△ 117,690	△ 17.8%
	導管供給管	130,507	140,782	150,918	189,511	176,255	△ 13,256	△ 7.0%
	ソフトウェア	3,727	8,322	15,162	18,040	0	△ 18,040	皆減
企業債償還金	397,982	408,978	394,647	372,308	351,349	△ 20,959	△ 5.6%	
支出計	1,527,781	1,386,616	1,435,738	1,327,927	1,679,078	351,151	26.4%	
差引不足額	1,411,375 (1,411,375)	1,230,320 (1,230,320)	1,193,691 (1,193,691)	1,084,157 (1,084,157)	1,319,681 (1,319,681)	235,524 (235,524)	21.7% (21.7%)	
補填財源	過年度分損益勘定 留保資金	110,492	109	873	792	422	△ 370	△ 46.7%
	当年度分損益勘定 留保資金	1,189,883	1,186,211	1,183,818	1,074,365	1,051,259	△ 23,106	△ 2.2%
	減債積立金	33,000	13,000	2,000	2,000	80,000	78,000	著増
	建設改良積立金	78,000	31,000	7,000	7,000	188,000	181,000	著増
	計	1,411,375	1,230,320	1,193,691	1,084,157	1,319,681	235,524	21.7%
企業債残高	4,129,001	3,720,023	3,325,376	2,953,068	2,601,718	△ 351,350	△ 11.9%	

※括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の不足額

収益的収支

収入：55億5,142万円

ガス料金収入 48億6,551万円
その他の収入 3億1,918万円
長期前受金戻入 3億6,673万円

支出：54億7,467万円

原料ガス費 30億6,109万円
人件費 3億2,854万円
修繕費 9,895万円
委託料など 5億5,173万円
支払利息 4,828万円
減価償却費 13億8,608万円
収支差引額（利益） 7,675万円

資本的収支

収入：3億5,939万円

補助金 2,975万円
工事負担金 2億807万円
固定資産売却収入 1億2,156万円
収支不足額 13億1,968万円

支出：16億7,907万円

建設改良費 13億2,772万円
企業債償還金 3億5,134万円



減価償却費等の損益勘定留保資金等で補填する。

3 決算主要項目の内容

(1) 収益的収支

単位：千円

(収益的収入) 予算額	決算額	予算額と決算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳					
			営業収益	営業雑収益	附帯事業収益	営業外収益	特別利益	
6,742,509	6,068,836	△ 673,673	△ 650,326	△ 11,201	△ 444	△ 11,702	0	
(収益的支出) 予算額	決算額	不用額	不用額の内訳					
			営業費用	営業雑費用	附帯事業費用	営業外費用	特別損失	予備費
6,466,640	5,877,098	589,542	545,751	6,485	2,709	33,595	2	1,000

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているため、上表の金額とは異なる

①収益的収入

◇ガス販売量は前年度より増加したものの、液化天然ガス輸入価格の下落により原料費調整額が減少したことなどから、ガス売上は前年度に比べ6億3,262万円(11.5%)減少

単位：千円

項目	元年度決算	2年度決算	比較
ガス売上	5,498,140	4,865,516	△ 632,624

○ガス契約区分別使用量実績

1) 戸数

単位：戸；件

契約区分	元年度		2年度		増減		増減率		構成比	
	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	2年度
一般契約	44,635	536,873	44,611	535,826	△ 24	△ 1,047	△0.1%	△0.2%	95.5%	95.4%
小型空調契約	93	1,137	90	1,103	△ 3	△ 34	△3.2%	△3.0%	0.2%	0.2%
空調契約	26	316	26	312	0	△ 4	0.0%	△1.3%	0.1%	0.0%
天然ガススタンド契約	1	12	1	12	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時間帯別B契約	40	470	36	463	△ 4	△ 7	△10.0%	△1.5%	0.1%	0.1%
家庭用温水暖房契約	1,791	21,127	1,865	21,855	74	728	4.1%	3.4%	3.8%	4.0%
融雪契約	16	195	16	192	0	△ 3	0.0%	△1.5%	0.0%	0.0%
小型空調パッケージ契約	77	794	77	921	0	127	0.0%	16.0%	0.2%	0.2%
コーシエネレーション契約	6	72	6	72	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭用コーシエネレーション契約	19	210	24	253	5	43	26.3%	20.5%	0.1%	0.1%
大口契約	17	204	18	216	1	12	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%
合計	46,721	561,410	46,770	561,225	49	△ 185	0.1%	0.0%	100.0%	100.0%

2) 使用量

単位：m³

契約区分	使用量		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用量		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
一般契約	19,786,870	20,004,914	218,044	1.1%	32.8%	32.3%	36.9	37.3	1.1%
小型空調契約	888,222	940,384	52,162	5.9%	1.5%	1.5%	781.2	852.6	9.1%
空調契約	785,326	808,729	23,403	3.0%	1.3%	1.3%	2,485.2	2,592.1	4.3%
天然ガススタンド契約	17,331	12,931	△4,400	△25.4%	0.0%	0.0%	1,444.3	1,077.6	△25.4%
時間帯別B契約	4,567,575	4,208,181	△359,394	△7.9%	7.6%	6.8%	9,718.2	9,088.9	△6.5%
家庭用温水暖房契約	1,496,973	1,675,088	178,115	11.9%	2.5%	2.7%	70.9	76.6	8.0%
融雪契約	147,875	613,525	465,650	314.9%	0.2%	1.0%	758.3	3,195.4	321.4%
小型空調パッケージ契約	1,620,150	1,664,281	44,131	2.7%	2.7%	2.7%	2,040.5	1,807.0	△11.4%
コージェネレーション契約	695,125	650,823	△44,302	△6.4%	1.1%	1.0%	9,654.5	9,039.2	△6.4%
家庭用コージェネレーション契約	27,219	32,429	5,210	19.1%	0.0%	0.1%	129.6	128.2	△1.1%
大口契約	30,355,065	31,393,921	1,038,856	3.4%	50.3%	50.6%	148,799.3	145,342.2	△2.3%
合計	60,387,731	62,005,206	1,617,475	2.7%	100.0%	100.0%	107.6	110.5	2.7%

○ガス用途区分別使用量・料金実績

1) 戸数

単位：戸；件

用途区分	元年度		2年度		増減		増減率		構成比	
	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	2年度
	家庭用	43,184	518,782	43,292	519,260	108	478	0.3%	0.1%	92.4%
工業用	73	883	74	892	1	9	1.4%	1.0%	0.2%	0.2%
商業用	2,731	32,964	2,678	32,360	△53	△604	△1.9%	△1.8%	5.8%	5.7%
官庁・学校用	733	8,781	726	8,713	△7	△68	△1.0%	△0.8%	1.6%	1.5%
合計	46,721	561,410	46,770	561,225	49	△185	0.1%	0.0%	100.0%	100.0%

2) 使用量

単位：m³

用途区分	使用量		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用量		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
家庭用	17,909,175	18,557,060	647,885	3.6%	29.6%	29.9%	34.5	35.7	3.5%
工業用	27,222,385	28,138,161	915,776	3.4%	45.1%	45.4%	30,829.4	31,545.0	2.3%
商業用	6,079,755	5,378,842	△700,913	△11.5%	10.1%	8.7%	184.4	166.2	△9.9%
官庁・学校用	9,176,416	9,931,143	754,727	8.2%	15.2%	16.0%	1,045.0	1,139.8	9.1%
合計	60,387,731	62,005,206	1,617,475	2.7%	100.0%	100.0%	107.6	110.5	2.7%

3) 料金

単位：円

用途区分	料金		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用料		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
家庭用	2,203,742,128	2,037,607,125	△166,135,003	△7.5%	40.1%	41.9%	4,248	3,924	△7.6%
工業用	1,899,011,058	1,626,085,143	△272,925,915	△14.4%	34.5%	33.4%	2,150,635	1,822,965	△15.2%
商業用	587,925,766	464,014,866	△123,910,900	△21.1%	10.7%	9.5%	17,835	14,339	△19.6%
官庁・学校用	807,461,195	737,808,640	△69,652,555	△8.6%	14.7%	15.2%	91,955	84,679	△7.9%
合計	5,498,140,147	4,865,515,774	△632,624,373	△11.5%	100.0%	100.0%	9,793	8,669	△11.5%

単位：千円

項目	元年度決算	2年度決算	比較
営業雑収益	319,357	274,661	△ 44,696

○年度末供給戸数 46,770 戸

令和2年度実績値

受注工事収益 268,598 千円

受注工事収益（修繕・その他） 4,736 千円

その他営業雑収益 1,327 千円

単位：件

	新設工事	改造工事	増設工事	撤去工事	その他	合計
元年度	207	424	74	368	31	1,104
2年度	215	359	43	293	23	933
比較	8	△ 65	△ 31	△ 75	△ 8	△ 171

単位：千円

項目	元年度決算	2年度決算	比較
附帯事業収益	5,272	5,246	△ 26

○LPガス用途区分別使用量・料金実績

1) 戸数

単位：戸；件

用途区分	元年度		2年度		増減		増減率		構成比	
	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	2年度
	家庭用	161	1,947	159	1,920	△ 2	△ 27	△ 1.2%	△ 1.4%	94.7%
商業用	3	36	3	36	0	0	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
その他	6	72	6	72	0	0	0.0%	0.0%	3.5%	3.6%
合計	170	2,055	168	2,028	△ 2	△ 27	△ 1.2%	△ 1.3%	100.0%	100.0%

2) 使用量

単位：m³

用途区分	使用量		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用量		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
	家庭用	11,792			12,002	210	1.8%	97.9%	98.0%
商業用	237	229	△ 8	△ 3.4%	2.0%	1.9%	6.6	6.4	△ 3.0%
その他	18	8	△ 10	△ 55.6%	0.1%	0.1%	0.3	0.1	△ 66.7%
合計	12,047	12,239	192	1.6%	100.0%	100.0%	5.9	6.0	1.7%

3) 料金

単位：円

用途区分	料 金		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 料		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
家 庭 用	4,778,799	4,842,725	63,926	1.3%	96.7%	96.8%	2,454	2,522	2.8%
商 業 用	99,420	97,570	△ 1,850	△1.9%	2.0%	2.0%	2,762	2,710	△1.9%
そ の 他	61,570	61,200	△ 370	△0.6%	1.3%	1.2%	855	850	△0.6%
合 計	4,939,789	5,001,495	61,706	1.2%	100.0%	100.0%	2,404	2,466	2.6%

- 年度末供給戸数 168 戸
 令和2年度実績値
 受注工事収益 30 千円
 ○附帯事業営業外収益
 長期前受金戻入 214 千円

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
営 業 外 収 益	418,802	406,003	△ 12,799

○営業外収益の内訳

単位：千円

		元年度	2年度	比 較
受 取 利 息	預金利息	156	47	△ 109
	貸付金利息	22	272	250
	小 計	178	319	141
繰 入 金	児童手当	3,892	3,565	△ 327
	小 計	3,892	3,565	△ 327
長 期 前 受 金 戻 入	長期前受補助金戻入	0	696	696
	長期前受工事負担金戻入	362,425	338,511	△ 23,914
	長期前受受贈財産評価額戻入	404	644	240
	長期前受繰入金戻入	14,572	26,881	12,309
	小 計	377,401	366,732	△ 10,669
雑 収 益	貸付料	2,843	2,108	△ 735
	下水道等受託収益	29,625	28,997	△ 628
	補償修繕収益	1,431	713	△ 718
	その他	3,432	3,569	137
	小 計	37,331	35,387	△ 1,944
	合 計	418,802	406,003	△ 12,799

②収益的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

◇液化天然ガス輸入価格の下落により原料費調整額が減少したことから原料ガス購入費が5億1,050万円（14.3%）減少

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
原料ガス購入業務	3,571,600	3,061,098	△ 510,502
経費内訳			
売上原価	2,024,633	事業者間精算費	1,036,465
【目的】 都市ガスを安定的に供給するために原料ガスを確保する。			
【概要及び成果】 液化天然ガス輸入価格の下落により、原料費が減少した。			
単位：m ³			
	元年度	2年度	比較
ガス購入量	60,476,131	62,089,339	1,613,208

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
供給所運転管理業務	9,472	8,969	△ 503
経費内訳			
備用品費	2,531	保険料	204
修繕費	2,367	通信運搬費	1,563
動力費	182	委託料	757
光熱燃料費	468	手数料	119
使用ガス費	778		
【目的】 ガス供給所の維持管理等の実施及び定期的な点検整備により、施設等の長期使用に努め、施設の更新需要の抑制を図る。			
【概要及び成果】 定期的な点検整備を実施し、適正な運転管理に努めた。			
＜主な費用＞			
備用品費	付臭剤		2,446 千円
修繕費	南部ガス供給所可燃性ガス検知器更新工事		900 千円
	大湊ガス供給所付臭タンクサイトグラス設置工事		690 千円
	春日山ガス供給所玄関屋根修繕工事		630 千円
通信運搬費	各供給所専用回線使用料		1,101 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
供給施設維持管理業務	64,018	54,040	△ 9,978

経費内訳

報酬	1,811	使用ガス費	153
手当	63	賃借料	491
法定福利費	297	保険料	269
備用品費	1,040	通信運搬費	1,276
旅費交通費	35	委託料	18,049
修繕費	6,183	手数料	374
特別修繕引当金繰入額	13,000	印刷製本費	388
動力費	107	租税課金	68
光熱燃料費	2,054	固定資産除却費	8,382
【特定財源】 その他雑収益	667		

【目的】

地区整圧器室、整圧器の維持管理等の実施及び定期的な点検整備により、施設等の長期使用に努め、施設の更新需要の抑制を図る。

【概要及び成果】

整圧器等施設の定期的な点検整備を実施し、適正な維持管理に努めた。

<主な費用>

報酬	会計年度任用職員 1人	1,790 千円
修繕費	南本町3丁目整圧器室緊急遮断弁等設置工事	1,575 千円
	春日新田A整圧器室改造工事	938 千円
	北部木田整圧器室建物塗装修繕工事	870 千円
	専用整圧器改造工事	618 千円
委託料	維持管理業務委託料	6,866 千円
	整圧器分解点検業務委託料	3,015 千円
	大瀧ガス供給所電気計装設備点検業務委託料	1,420 千円
	中郷区営業所ガス監視システム移設業務委託料	230 千円
	北本町ガス供給所地下水水質調査業務委託料	130 千円
固定資産除却費	導管本支管撤去工事	7,483 千円

【課題及び今後の方向性】

旧北本町ガス供給所構内の土壌中の特定有害物質の拡散監視を目的とした地下水水質調査を令和6年度まで年1回実施、令和7年度以降は2年に1回実施し、結果を公表する。

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
ガス管修繕業務	27,996	37,973	9,977
経費内訳			
法定福利費	31	手数料	1
備用品費	558	印刷製本費	32
修繕費	37,206	租税課金	13
保険料	132		
【特定財源】			
その他雑収益	46		
【目的】			
ガス漏えい及び導管に係る事故の未然防止と拡大防止を図る。			
【概要及び成果】			
ガス管の漏えいや急を要する他工事の支障移転に迅速に対応し、安定供給の継続を図った。 本支管・供給管修理件数 16件（令和元年度 25件）			
＜主な費用＞			
修繕費	責任修繕工事委託料		29,818 千円
	責任修繕工事舗装本復旧費		5,310 千円
	補償修繕工事委託料		43 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
ガスメーター取替業務	73,434	61,908	△ 11,526
経費内訳			
法定福利費	25	通信運搬費	176
備用品費	46	委託料	13,113
修繕費	48,486	印刷製本費	60
光熱燃料費	2		
【目的】			
計量法に基づき、検定満期を迎えるガスメーターを取り替える。			
【概要及び成果】			
検定満期を迎えるガスメーターを計画的に取り替えた。 取替対象数の減少により、事業費が減少した。			
＜主な費用＞			
修繕費	取替用ガスメーター（取替数4,343個）		48,342 千円
委託料	取替業務委託料		13,113 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
受注工事業務	302,619	265,848	△ 36,771
経費内訳			
報酬	1,280	保険料	26
手当	45	通信運搬費	16
法定福利費	200	委託料	1,147
備用品費	66	手数料	7
旅費交通費	21	工事請負費	254,986
修繕費	3,345	租税課金	7
光熱燃料費	24	器具販売原価	664
賃借料	402	過年度損益修正損	3,612
【特定財源】			
受注工事収益	265,848		
【目的】			
安全で安定した供給を行うための装置工事の施工に係る管理を行う。			
【概要及び成果】			
申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。			
前年度実施した小中学校等の空調設備の導入が完了したことにより、工事請負費が減少した。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,280 千円
修繕費	受注修繕工事委託料		3,088 千円
委託料	工事受付システム維持管理費		1,147 千円
工事請負費	受注工事請負費（933件）		254,986 千円
過年度損益修正損	ガス内管工事請負金の一部未払金		3,612 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
液化石油ガス販売事業	4,432	3,163	△ 1,269
経費内訳			
液化石油ガス売上原価	1,762	委託料	370
備用品費	12	手数料	53
旅費交通費	5	印刷製本費	4
修繕費	469	負担金及び補助	53
光熱燃料費	27	雑費	27
賃借料	48	固定資産除却費	49
保険料	7	減価償却費	214
通信運搬費	44	工事請負費	19
【特定財源】			
液化石油ガス売上	2,919	長期前受金戻入	214
液化石油ガス受注工事収益	30		
【目的】			
液化石油ガスを安全で安定的に供給する。			
【概要及び成果】			
液化石油ガス供給施設（大瀧区）の維持管理を適正に行い、安全で安定的にガスを供給した。			
販売量	12,239m ³ （令和元年度に対し192m ³ 、1.6%の増）		
供給戸数	168戸（令和元年度に対し2戸、1.2%の減）		
＜主な費用＞			
修繕費	遮断弁取替修繕工事		340 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎白ガス灯外内管対策	679	620	△ 59
経費内訳			
委託料	620		
【目的】 需要家の敷地に埋設された経年埋設内管（白ガス管）を耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管へ入れ替えることで、ガス漏れ事故の防止及び耐震性の向上を図る。			
【概要及び成果】 需要家に対し、改善工事の趣旨を周知・説明し、白ガス灯外内管の削減を図った。 改善折衝は、4年に1回の頻度で行う内管漏えい検査及び消費機器調査と合わせて行った。 ※灯外内管：道路境界からガスメーターまでのガス管 折衝件数 698件 改善件数 161件（撤去64件、入替97件） 改善件数のうち令和2年度折衝件数 37件（撤去17件、入替20件）			
＜主な費用＞ 委託料 白ガス灯外内管折衝業務委託料 620 千円			
【課題及び今後の方向性】 改善に至らない理由としては、高齢者世帯であることや、経済的な問題、建物の老朽化等により建替を検討しているなどがある。このことから対象となる需要家との折衝の際は、改善意思を確認し、理解・協力が得られない場合は理由等を確実に記録するとともに、粘り強く改善折衝を行っていく。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ガス管漏えい検査	4,050	4,299	249
経費内訳			
委託料	4,299		
【目的】 道路に埋設されているガス管の漏えい検査を実施し、安全で安定した供給を確保する。			
【概要及び成果】 ガス供給エリアを4ブロックに分割し、ガス事業法に基づき4年に1回の頻度で計画的に漏えい検査を行い、令和2年度は合併前上越市（高田地区）を実施した。 検査延長 154,706m 漏えい発見件数 1件（東城町1丁目地内）			
＜主な費用＞ 委託料 導管漏えい検査業務委託料 4,299 千円			
【課題及び今後の方向性】 漏えい検査が必要なガス管532kmをガス事業法に基づき検査を確実にを行い、漏えいを発見した場合は緊急修繕により対応を行う。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 定期保安調査	35,804	34,528	△ 1,276

経費内訳

報酬	1,292	光熱燃料費	36
手当	32	保険料	27
法定福利費	210	通信運搬費	61
備用品費	219	委託料	31,588
旅費交通費	18	印刷製本費	364
修繕費	681		

【目的】

ガス事業法に基づく内管漏えい検査及び消費機器調査を実施して、漏えいや消費機器の不備による事故を未然に防止することで、需要家の安全なガス使用を確保する。

【概要及び成果】

ガス事業法に基づき、4年に1回の頻度で内管漏えい検査及び消費機器調査を実施した。

○定期保安調査件数

単位：件

項目	調査件数	不備発見数
戸建一般需要家検査	7,641	16
集合一般需要家検査	3,431	3
業務用需要家検査	187	0
閉栓灯外内管検査	1,410	0
検査対象需要家不在件数	619	
合計	13,288	19

<主な費用>

委託料 内管漏えい検査及び消費機器調査業務委託料 31,588 千円

【課題及び今後の方向性】

訪問による調査を実施しているが、単身世帯や介護施設に入所中の不在世帯等、日程調整が難しい需要家が増加傾向にある。ダイレクトメールを親族等に転送することで帰省の機会に調査を実施し、未検査件数の削減を図る。

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
マッピングシステム整備業務	2,664	3,709	1,045
経費内訳			
報酬	1,511	旅費交通費	36
手当	53	委託料	1,860
法定福利費	249		
【目的】			
ガス水道管路情報システム（マッピング）の管理を行い、ガス施設の維持管理及び将来計画に活用する。			
【概要及び成果】			
工事竣工に伴うガス管情報の修正などを行い、システムを適正に維持管理した。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,511 千円
委託料	マッピングシステムソフト保守業務委託料		1,860 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
都市ガスPR活動業務	6,574	10,766	4,192

経費内訳

報酬	2,767	光熱燃料費	59
手当	78	保険料	60
法定福利費	364	通信運搬費	70
備用品費	25	手数料	10
旅費交通費	93	租税課金	5
修繕費	123	需要開発費	7,112
【特定財源】			
その他雑収益	127		

【目的】

クリーンなエネルギーで供給安定性の高い都市ガスを幅広くPRすることで、新規の業務用及び家庭用の販売拡大を目指すとともに、既存需要家の都市ガス離れの防止を図る。

【概要及び成果】

令和2年11月に開設したショールーム「ガステラス」では、最新ガス機器を備え、新築やリフォームを検討されるお客様に対し、都市ガスの利便性や安全性をPRするとともに、割引料金プランの提案等、都市ガスの採用拡大に向けた情報発信を行った。（令和2年度来客数 582人）
ガステラスの新設に伴うショールームスタッフ配置及び備品購入等により、運営経費が増加した。

- 家庭用ガス販売
住宅販売会社等のサブユーザーへの営業活動やメディアを活用したPRなどを行った。
- 業務用ガス販売
新規大口需要家の獲得を目指し、重油等の他燃料を使用している工場などに対し、都市ガスへの燃料転換の提案を実施した。
- PRイベント
「ガス水道フェア」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、市内の空き店舗を利用した「まちなかショールーム」は、感染症対策を講じて開催し、ガスの安全性・利便性をPRした。

<主な費用>

報酬	会計年度任用職員 3人	2,767 千円
需要開発費	ショールーム「ガステラス」運営費	2,862 千円
	ガス広告経費	1,652 千円
	まちなかショールーム経費	1,112 千円

【課題及び今後の方向性】

新たに開設したショールーム「ガステラス」を営業拠点として、都市ガスの利便性や安全性をPRするとともに、都市ガスの採用拡大に向け、情報発信を継続して進めていく。
また、PRイベントの開催については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を万全に行いながら実施していく。

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎都市ガス設置機器助成金	3,540	4,928	1,388

経費内訳

需要開発費 4,928

【目的】

人口減少やオール電化等の他燃料との競合などにより減少傾向にある家庭用ガス販売量維持のため、都市ガス機器設置に対し助成金を交付する。

【概要及び成果】

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」と省エネ型高効率給湯器「エコジョーズ」の設置費の助成を行い、温水暖房等の利用による家庭用ガス販売量の拡大を図った。エネファーム、エコジョーズともに助成金制度の利用が増加したことにより、需要開発費が増加した。

○助成金制度実績件数

単位：件

	元年度	2年度	比較
エネファーム	5	6	1
エコジョーズ	50	85	35

<主な費用>

エネファーム 400千円/台 × 6台 = 2,400千円
 エコジョーズ 30千円/台 × 66台 = 1,980千円
 (温水暖房機器同時設置の場合)
 エコジョーズ 20千円/台 × 19台 = 380千円
 (温水暖房機能付本体設置の場合)

【課題及び今後の方向性】

エネファーム及びエコジョーズの助成件数増加は、制度の認知度が向上してきたことによるものと考えられる。引き続き需要家及び住宅販売会社等に制度が浸透するよう努める。

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
料金徴収委託業務	83,477	84,838	1,361
経費内訳			
備用品費	234	通信運搬費	7,738
修繕費	64	委託料	75,235
賃借料	1,410	手数料	157
【特定財源】			
その他雑収益	28,997		
【目的】			
民間ノウハウを活用することで、事務効率の向上とお客様サービスの充実を図る。			
【概要及び成果】			
民間事業者に包括的な料金徴収業務を委託し、民間のノウハウを活用したことにより、収納率は中期経営計画の計画値99.5%に対し、実績値は99.7%となり、0.2ポイント上回ることができた。			
＜主な費用＞			
賃借料	料金システムリース料		1,410 千円
通信運搬費	料金納入令書郵送料		7,659 千円
委託料	料金等徴収業務委託料		68,017 千円
	料金口座振替及びコンビニ収納手数料		6,759 千円
【課題及び今後の方向性】			
民間事業者に包括的な料金徴収業務を引き続き委託することにより、収納率の維持向上に努めるとともに、受託業者と日常的に情報や課題を共有することにより、お客さまサービスの充実に取り組んでいく。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
無線設備管理業務	47	256	209
経費内訳			
修繕費	106	手数料	102
通信運搬費	48		
【目的】 ガス漏えい対応や災害時などにおける緊急連絡用無線設備を適正に維持管理する。			
【概要及び成果】 電波法に基づく許可申請及び設備の維持管理を行った。			
＜主な費用＞			
修繕費	無線機器等修理費		106 千円
手数料	無線局電波利用料		102 千円
【課題及び今後の方向性】			
無線設備規則の改正により、現在使用している39台の無線機は令和4年12月以降使用できなくなることから、必要台数を精査し新規格に適合したものに入れ替える。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
局ネットワーク管理業務	3,153	3,977	824
経費内訳			
備用品費	169	通信運搬費	216
賃借料	150	委託料	3,442
【目的】 局のネットワーク、サーバ等について、セキュリティを含め適正に維持管理する。			
【概要及び成果】 局のネットワーク及びOA機器等の管理を適正に行った。			
＜主な費用＞			
委託料	電算処理運用支援業務委託料		2,088 千円
	局内イントラネット保守業務委託料		1,327 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
入札業務	2,090	1,986	△ 104
経費内訳			
報酬	1,185	賃借料	16
手当	45	委託料	1
法定福利費	201	印刷製本費	1
備用品費	15	負担金及び補助	476
旅費交通費	46		
【目的】			
建設工事等について、透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に執行する。			
【概要及び成果】			
建設工事等を透明性の高い電子入札システムにより執行した。また、ガス水道本支管工事において、制限付き一般競争入札や「一抜け方式」を引き続き実施するなど、公平性及び競争性の確保に努めた。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,185 千円
負担金及び補助	電子入札システム使用負担金		463 千円
【課題及び今後の方向性】			
透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に実施するため、法令改正や国、県及び他市の動向を注視し、必要に応じて入札制度の見直しを行う。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
庁舎維持管理業務	7,398	31,317	23,919
経費内訳			
備用品費	23,511	保険料	41
修繕費	320	通信運搬費	476
光熱燃料費	2,148	委託料	3,544
使用ガス費	347	手数料	834
賃借料	56	雑費	40
【特定財源】			
その他雑収益	1,976		
【目的】 本局庁舎を適切に維持管理することにより、来庁者や職員の利便性及び安全性を確保する。			
【概要及び成果】 本局庁舎の施設及び設備の定期的な保守点検等を実施し安全性を確保するとともに、庁舎設備の故障等に速やかに対応した。 新庁舎において来庁者や職員の利便性を確保するため、必要な備品を配置したことにより備用品費が増加した。 ＜主な費用＞			
備用品費	新庁舎関連備品費		22,996 千円
光熱燃料費	庁舎電気料		1,319 千円
委託料	庁舎維持管理業務委託料		2,183 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
経理業務	2,402	2,643	241
経費内訳			
報酬	1,292	委託料	974
手当	45	印刷製本費	9
法定福利費	225	負担金及び補助	9
旅費交通費	89		
【目的】 地方公営企業法を始めとする関係法令に基づき適正な会計処理を行うことにより、事業経営の健全性を維持する。			
【概要及び成果】 上越市ガス水道事業会計規程に基づく経理処理を行うとともに、会計システムを適正に管理した。 ＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,292 千円
委託料	企業会計システム保守業務委託料		974 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較						
◎ 職 員 研 修	927	170	△ 757						
経費内訳									
備用品費	26	手数料	22						
旅費交通費	27	負担金及び補助	95						
【目的】									
外部研修、内部研修を通じて職員の知識及び技術力の向上を図る。									
【概要及び成果】									
<p>職員の技術や知識の向上・継承のため、ガス管接続を行う実地研修や災害時における移動式ガス発生設備の設置研修などを実施した。また、職員に技術資格の取得を奨励するため、受験費用の一部助成を行った。</p>									
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>旅費交通費</td> <td>研修会旅費交通費</td> <td>27 千円</td> </tr> <tr> <td>負担金及び補助</td> <td>研修会参加費等</td> <td>95 千円</td> </tr> </table>				旅費交通費	研修会旅費交通費	27 千円	負担金及び補助	研修会参加費等	95 千円
旅費交通費	研修会旅費交通費	27 千円							
負担金及び補助	研修会参加費等	95 千円							
【課題及び今後の方向性】									
<p>職員の技術のより一層の向上、維持を図るため、職員の目標とする技術力の到達度を確認するとともに、研修カリキュラムを検証し、効率的、効果的な研修を進めていく。</p>									

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他営業費用	1,792,029	1,740,154	△ 51,875

経費内訳

報酬	1,684	賃借料	358
給料	149,553	保険料	1,357
手当	63,208	通信運搬費	182
賞与引当金繰入額	18,790	委託料	4,112
法定福利費	45,699	手数料	121
法定福利費引当金繰入額	3,714	印刷製本費	111
厚生福利費	311	負担金及び補助	3,105
退職給付引当金	24,473	食糧費	1
備用品費	3,901	雑費	186
旅費交通費	77	たな卸減耗費	68
修繕費	79	固定資産除却費	32,666
光熱燃料費	288	減価償却費	1,386,082
使用ガス費	28		

【概要及び成果】

法定耐用年数の経過に伴い、減価償却費が減少したことから、その他営業費用が減少した。

<主な費用>

職員給与費（営業費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	38人	154,791	90,617	27,974	52,350	325,732
2年度	37人	149,553	81,939	24,473	49,163	305,128
比較	△1人	△ 5,238	△ 8,678	△ 3,501	△ 3,187	△ 20,604

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他営業雑費用	7,987	8,153	166

経費内訳

給料	4,346	法定福利費	1,333
手当	1,794	法定福利費引当金繰入額	112
賞与引当金繰入額	562	厚生福利費	6
【特定財源】 受注工事収益	8,153		

【概要及び成果】

申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工検査を実施するとともに、適切な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。

<主な費用>

職員給与と費（営業雑費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	1人	4,527	1,990	0	1,460	7,977
2年度	1人	4,346	2,356	0	1,445	8,147
比較	0人	△ 181	366	0	△ 15	170

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
支払利息	54,823	48,286	△ 6,537

経費内訳

企業債利息	48,286
-------	--------

【目的】

既発行企業債に係る利息を確実に支払うとともに、新規発行を抑制して支払利息の削減を行い、将来の財務負担を軽減する。

【概要及び成果】

中長期的な経営収支見通しに基づき、内部留保資金を活用し企業債の新規発行を行わないことにより、支払利息額が減少した。

<支払先>

財務省	21,653 千円
地方公共団体金融機構	26,633 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他営業外費用	336	1,043	707
経費内訳			
雑支出	924	固定資産売却損	119
【特定財源】 その他雑収益	924		
【概要及び成果】 ＜主な費用＞			
雑支出	交通事故に伴う損害賠償金		924千円
固定資産売却損	車両入替に伴う売却損		119千円

(2) 資本的収支

単位：千円

(資本的収入) 予算額	決算額	翌年度繰越 財源額	予算額と決 算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳		
				補助金	工事負担金	固定資産売却収入
401,237	374,629	16,502	△26,608	29,757	△49,534	△6,831
(資本的支出) 予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	不用額の内訳		
				建設改良費	企業債償還金	
1,944,702	1,803,166	45,870	95,666	95,662	4	

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているため、上表の金額とは異なる

① 資本的収入

◇新庁舎への移転に伴う旧ガス水道局庁舎売却により固定資産売却収入が増加したことから資本的収入全体で47.4%増加

単位：千円

項目	元年度決算	2年度決算	比較
補助金	2,241	29,757	27,516

○新庁舎地中熱融雪設備設置工事に係る補助金

29,757千円

(エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金)

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
工 事 負 担 金	241,506	208,071	△ 33,435

○下水道工事等に伴う移設補償費及び団地開発に伴う導管布設負担金

単位：千円

区 分	元年度	2年度	比 較
区画整理・団地	20,795	30,126	9,331
一般他工事関連	29,446	4,103	△ 25,343
下水道関連	189,735	173,218	△ 16,517
供給管関連	1,530	624	△ 906
合 計	241,506	208,071	△ 33,435

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
固 定 資 産 売 却 収 入	23	121,569	121,546

○新庁舎への移転に伴い、一般会計へ旧ガス水道局庁舎を売却

固定資産売却収入総額 216,454 千円

(内訳)

ガス事業会計分 121,569 千円

水道事業会計分 94,885 千円

※固定資産帳簿価額により売却

②資本的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎供給施設更新事業	0	13,161	13,161
経費内訳			
土地	4,041	構築物	3,306
建物	3,487	機械装置	2,327
【目的】 老朽化したガス供給施設の更新を行い、安全で安定した供給を図る。			
【概要及び成果】 供給停止による二次災害の防止及び早期復旧を目的としたガス管網ブロック化計画に基づいて、1つの復旧ブロックに整圧器1基を設置するため、頸城区西福島地内に整圧器室を新設した。			
＜主な費用＞			
土地	頸城区西福島地内整圧器室築造用地取得費(230㎡)		4,041千円
建物	頸城区西福島地内整圧器室築造工事		3,487千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
設計業務	19,344	8,533	△10,811
経費内訳			
導管本支管	8,533		
【目的】 ガス本支管工事の設計を行い、設計図及び設計書を作成する。			
【概要及び成果】 CAD設計積算システムを使用して設計積算を行うとともに、業務の一部について業務委託により実施した。前年度にシステムサーバーOSのサポート終了に伴うCAD設計積算システムの更新が完了したことにより、事業費が減少した。			
＜主な費用＞			
導管本支管	本支管工事設計業務委託料		7,244千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他建設改良費	1,308,583	1,657,384	348,801

経費内訳

建物	555,199	ガスメーター	8,675
機械装置	1,448	導管本支管	545,804
車両運搬具	3,075	導管供給管	167,064
工具器具備品	24,770	企業債償還金	351,349
【特定財源】			
補助金	29,757	工事負担金	208,071

【概要及び成果】

＜主な費用＞

職員給与費（設計監督業務に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	10人	36,991	23,617	0	12,596	73,204
2年度	10人	37,628	24,675	0	12,686	74,989
比較	0人	637	1,058	0	90	1,785

建物	庁舎新築工事費	472,309 千円
	新庁舎ショールーム設置業務委託料	45,485 千円
	地中熱融雪設備設置工事	36,838 千円
工具器具備品	新庁舎関連工具器具備品費	20,910 千円
	事務用パソコン8台更新費	1,106 千円
導管本支管	下水道関連工事など導管本支管工事費	477,186 千円
	布設延長 L=9,042m	
企業債償還金	財務省	143,965 千円
	地方公共団体金融機構	207,384 千円

【庁舎新築工事】

○ガス水道局庁舎新築工事について、建築・電気設備・機械設備工事が令和2年9月30日に完了し、令和2年11月24日から新庁舎での業務を開始した。

○建設費 (千円：税込)

年度	実施内容	事業費	うち補助金
平成30年度	ガス水道局新庁舎建設に伴う地質調査業務委託	ガス会計 12,814 水道会計 6,407	0
	ガス水道局庁舎新築工事設計業務委託	ガス会計 57,393 水道会計 28,697	0
令和元年度	ガス水道局庁舎建築工事	ガス会計 114,240 水道会計 57,120	0
	ガス水道局庁舎新築工事監理業務委託	ガス会計 1,770 水道会計 885	0
	ガス水道局新庁舎地中熱温度調査及び融雪設備詳細設計業務委託	ガス会計 8,470 水道会計 4,235	4,483
令和2年度	ガス水道局庁舎建築工事	ガス会計 704,365 水道会計 352,182	0
	ガス水道局庁舎新築電気設備工事	ガス会計 183,772 水道会計 91,886	0
	ガス水道局庁舎新築機械設備工事	ガス会計 137,534 水道会計 68,767	0
	ガス水道局庁舎新築工事監理業務委託	ガス会計 13,410 水道会計 6,705	0
	地中熱融雪設備設置工事	ガス会計 81,044 水道会計 40,522	59,513
合計		ガス会計 1,314,812 水道会計 657,406	63,996

庁舎外観（東面）



ショールーム「ガステラス」



令和2年11月16日撮影

4 第2次ガス事業中期経営計画との比較

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
白ガス灯外内管 残存率	%	10.4	10.0	△ 0.4	↑	灯外内管に白ガス管を使用した建物の建替や解体が進んだことから、該当需要家の件数が減少し計画値を上回った。
職員資格取得度	件/人	1.93	2.29	0.36	↑	職員へ資格取得を奨励するとともに、ガス水道技術の向上に寄与する技術資格取得に係る助成措置を継続して実施し、職員の資格取得件数が増加したことから、計画値を上回った。
家庭用選択契約 獲得件数	件	100	99	△ 1	↓	令和2年度から家庭用温水暖房契約の適用条件緩和に伴い、家庭用選択契約獲得件数は前年度に比べ29件増加したが、計画値を僅かに下回った。
家庭用1戸1月当たり ガス販売量	m ³ /件	37.0	35.7	△ 1.3	↓	冬期間の平均気温が低く推移し、暖房需要が増えたことから販売量は前年度に比べ増加したものの、1戸当たりの使用量が減少したため、計画値を下回った。
大口契約、業務用 選択契約獲得件数	件	4	3	△ 1	↓	工業団地への進出企業が多量の熱源を必要としない業種が多い状況であったことから、計画値を下回った。

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
損益勘定所属職員 1人当たりガス販売量	千m ³ /人	1,583	1,632	49	↑	冬期間の平均気温が低く推移し、家庭用の給湯及び暖房需要が増えたことなどから、販売量が増加し、計画値を上回った。
経常収支比率	%	105.0	101.5	△ 3.5	↓	令和2年度から実施した値下げの料金改定により、ガス売上が減少したため、計画値を下回った。 (中期経営計画では料金改定を見込んでいない。)
ガス売上に対する 企業債利息割合	%	0.9	1.0	0.1	↓	企業債利息は計画どおりとなったものの、液化天然ガス輸入価格の下落により、ガス売上が減少したため、計画値を下回った。
ガス売上に対する 企業債残高割合	%	47.6	53.5	5.9	↓	企業債残高は計画どおりとなったものの、液化天然ガス輸入価格の下落により、ガス売上が減少したため、計画値を下回った。
収納率	%	99.5	99.7	0.2	↑	口座振替を推進するなど現年度分料金の確実な納付を促すほか、分割納付や供給停止処分など、個別の状況に応じた収納対策を継続的に実施した結果、計画値を上回った。

※計画対比： ↑ 計画を上回っている

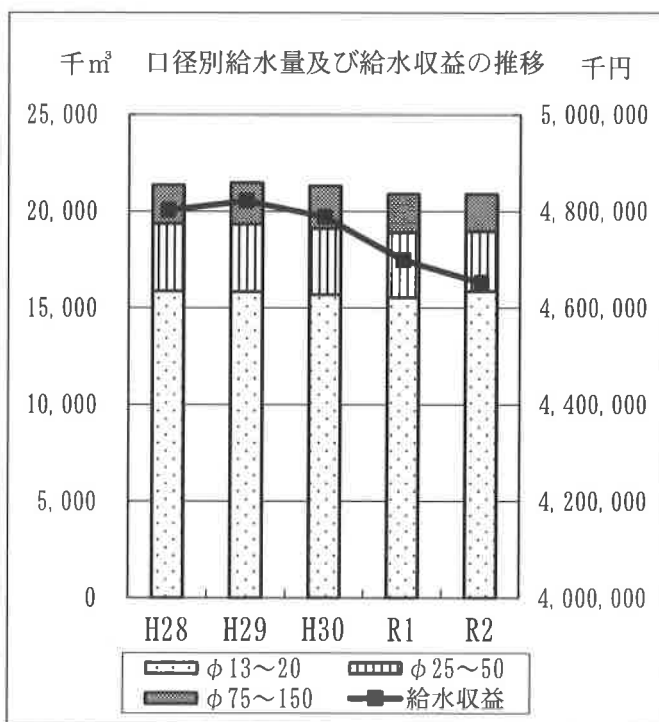
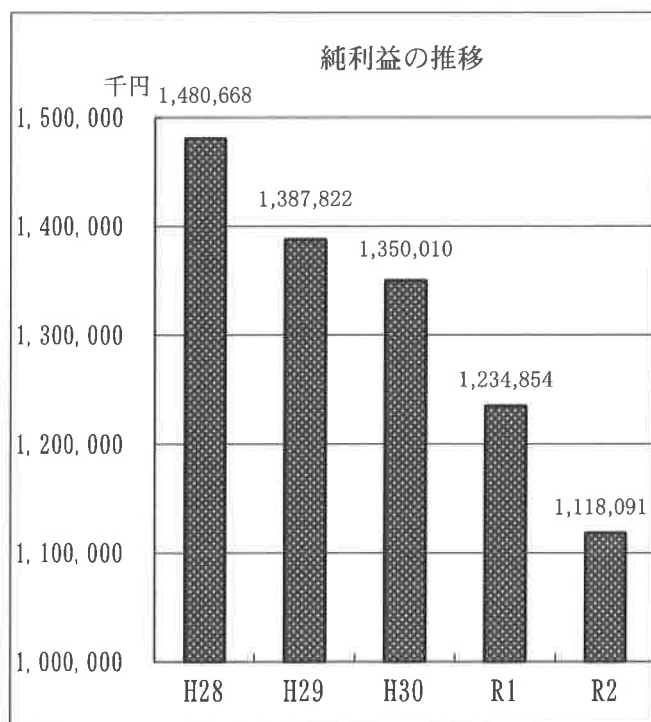
↓ 計画を下回っている

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第78号
提出課	経営企画課

令和2年度上越市水道事業会計決算の概要

- 有収水量は、家庭用が37.4万 m^3 (2.3%) 増加したが、コロナ禍で商業用が24.7万 m^3 (10.4%)、工業用が4.8万 m^3 (3.1%) 減少したことから、全体では、前年度に比べ4.0万 m^3 (0.2%) の減少となった。
- 収益的収支では、有収水量の減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う水道料金の減免等により、給水収益は4,572万円 (1.0%) 減少し、また、高料金対策等一般会計繰入金 は6,693万円 (52.5%) 減少となった。支出では、管路更新などに伴う固定資産除却費が1,646万円 (6.6%) 増加した一方で、広域施設の法定耐用年数の経過に伴う減価償却費等の減少により7,123万円 (6.6%)、企業債新規借入れの抑制に伴い支払利息が1,956万円 (7.7%) それぞれ減少した結果、当年度純利益は前年度に比べ1億1,676万円 (9.5%) 減の11億1,809万円となった。
- 資本的収支では、国の交付金事業を活用し、地震の際に断水被害の影響が大きい大口径の基幹管路の耐震化を引き続き優先的に進めた結果、基幹管路耐震適合率は37.8%となった。また、城山浄水場の大規模改修に向け、基本設計等業務委託を実施するとともに、深谷浄水場浄水処理施設などの改修工事により安定供給の確保に努めた。
- 令和元年度に着手した庁舎新築工事が令和2年10月に竣工し、11月24日から業務を開始した。

(注) 平成29年度から簡易水道事業を水道事業に統合したことから、年度間の実質的な比較を行うため、平成28年度の金額及び数値は、水道事業会計と簡易水道事業会計の合算としている。



1 業務の概要

◇有収水量は、コロナ禍の影響により前年度に比べ4.0万m³ (0.2%) 減少

(水道事業)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 行政区域内人口	195,880	194,132	192,068	190,042	188,382	△ 1,660	△ 0.9%
2 給水区域内人口	195,841	194,131	192,083	190,061	188,405	△ 1,656	△ 0.9%
3 給水人口	195,803	194,096	192,040	190,033	188,378	△ 1,655	△ 0.9%
4 給水戸数	84,356	84,935	85,173	85,790	86,010	220	0.3%
5 普及率	99.98	99.98	99.98	99.99	99.99	0.00	-
6 施設能力	148,479.6	141,551.6	137,141.0	135,661.0	135,661.0	0	0.0%
7 年間配水量	24,575,213	24,682,088	24,253,747	23,407,866	23,458,589	50,723	0.2%
8 年間有収水量	22,612,549	22,706,881	22,536,311	22,058,531	22,017,846	△ 40,685	△ 0.2%
9 一日最大配水量 (一日最大月日)	71,203 (8/12) 5,358 (8/13)	79,311 (1/29)	79,693 (7/24)	74,089 (8/14)	70,633 (9/3)	△ 3,456	△ 4.7%
10 一日平均配水量	67,145	67,622	66,449	63,956	64,270	314	0.5%
11 一日平均有収水量	61,783	62,211	61,743	60,269	60,323	54	0.1%
12 有収率	92.01	92.00	92.92	94.24	93.86	△ 0.38	-
13 職員数	86	85	85	85	83	△ 2	△ 2.4%

※一日最大配水量の平成28年度の数值は上段水道事業、下段簡易水道事業

(用水供給事業)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 施設能力	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060	0	0.0%
2 年間配水量	753,242	769,016	752,478	730,950	806,455	75,505	10.3%
3 年間有収水量	749,763	769,016	752,478	730,950	806,455	75,505	10.3%
4 一日最大配水量 (一日最大月日)	2,558 (12/15)	2,816 (1/30)	2,606 (7/24)	2,533 (9/5)	2,868 (6/23)	335	13.2%
5 一日平均配水量	2,064	2,107	2,062	1,997	2,209	212	10.6%
6 一日平均有収水量	2,054	2,107	2,062	1,997	2,209	212	10.6%
7 有収率	99.54	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	-

2 決算の概要 ※消費税及び地方消費税抜きの金額

(1) 収益的収支

単位：千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収	営業収益	4,810,679	4,821,460	4,788,191	4,698,294	4,652,565	△ 45,729	△ 1.0%
	給水収益	4,802,409	4,821,460	4,788,191	4,698,294	4,652,565	△ 45,729	△ 1.0%
	広域施設 営業収益	8,270	0	0	0	0	0	0.0%
	営業雑収益	12,193	11,980	12,694	14,677	12,825	△ 1,852	△ 12.6%
	営業外収益	1,889,750	1,613,509	1,639,272	1,613,724	1,502,611	△ 111,113	△ 6.9%
	繰入金	405,650	139,736	136,984	127,398	60,465	△ 66,933	△ 52.5%
	加入金	45,610	51,790	50,640	58,784	48,068	△ 10,716	△ 18.2%
	長期前受 戻金の その他 営業外 収益	1,057,511	1,059,482	1,093,409	1,085,721	1,058,190	△ 27,531	△ 2.5%
	広域施設 営業外 収益	87,090	81,477	89,696	82,225	84,283	2,058	2.5%
	広域施設 営業外 収益	293,889	281,024	268,543	259,596	251,605	△ 7,991	△ 3.1%
入	用水供給事業収益	92,438	91,292	89,780	88,623	92,369	3,746	4.2%
	用水供給 事業収益	75,987	75,565	74,752	74,095	78,288	4,193	5.7%
	用水供給 事業外 収益	16,447	15,727	15,028	14,528	14,081	△ 447	△ 3.1%
	用水供給 特別利 益	4	0	0	0	0	0	0.0%
	特別利益	189	410	12	4,226	0	△ 4,226	皆減
収入計	6,805,249	6,538,651	6,529,949	6,419,544	6,260,370	△ 159,174	△ 2.5%	
支	営業費用	4,863,844	4,718,503	4,764,875	4,814,033	4,799,853	△ 14,180	△ 0.3%
	職員給与費	479,258	488,403	492,875	530,815	543,041	12,226	2.3%
	(うち退職給付費)	(0)	(9,671)	(11,028)	(41,255)	(42,118)	(863)	2.1%
	修繕費	215,131	171,517	152,983	138,882	154,179	15,297	11.0%
	動力費	85,877	89,941	96,406	84,327	77,102	△ 7,225	△ 8.6%
	薬品費	16,674	15,592	15,664	16,823	18,515	1,692	10.1%
	委託料	264,863	263,175	264,648	259,735	285,086	25,351	9.8%
	受水費	8,270	0	0	0	0	0	0.0%
	共同施設 管理分担費	67,278	19,417	38,576	51,317	36,069	△ 15,248	△ 29.7%
	減価償却費	2,253,602	2,277,494	2,264,945	2,268,135	2,277,903	9,768	0.4%
	広域施設 営業費用	1,180,536	1,107,038	1,070,460	1,086,934	1,015,700	△ 71,234	△ 6.6%
	その 他 営業 費用	292,355	285,926	368,318	377,065	392,258	15,193	4.0%
	営業雑費用	11,941	10,225	11,294	9,960	9,309	△ 651	△ 6.5%
出	営業外費用	379,080	357,022	326,916	297,468	274,139	△ 23,329	△ 7.8%
	支払利息	310,745	292,973	274,115	254,526	234,959	△ 19,567	△ 7.7%
	その 他 営業 費用	14,227	14,196	7,235	1,703	2,284	581	34.1%
	広域施設 営業外 費用	54,108	49,853	45,566	41,239	36,896	△ 4,343	△ 10.5%

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
支 出	用水供給事業費用	69,101	64,770	62,480	63,160	58,920	△ 4,240	△ 6.7%
	用水供給費用	66,073	61,978	59,930	60,852	56,853	△ 3,999	△ 6.6%
	用水供給費用	3,028	2,790	2,550	2,308	2,065	△ 243	△ 10.5%
	用水供給費用	0	2	0	0	2	2	皆増
	特別損失	615	309	14,374	69	58	△ 11	△ 15.9%
支 出 計	5,324,581	5,150,829	5,179,939	5,184,690	5,142,279	△ 42,411	△ 0.8%	
収支差引（純損益）	1,480,668	1,387,822	1,350,010	1,234,854	1,118,091	△ 116,763	△ 9.5%	

（2）資本の収支

単位：千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収 入	企業債	300,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0.0%
	補助金	111,934	170,215	194,934	242,988	229,046	△ 13,942	△ 5.7%
	工事負担金	328,934	313,355	374,562	376,938	417,561	40,623	10.8%
	繰入金	130,786	117,116	112,380	110,705	112,901	2,196	2.0%
	繰入金	118,022	109,582	108,730	108,423	112,901	4,478	4.1%
	広域施設 繰入金	12,764	7,534	3,650	2,282	0	△ 2,282	皆減
	固定資産 売却収入	284,100	120	10,537	310	94,930	94,620	著増
	水の供給 収入	16,737	423	204	128	2	△ 126	△ 98.4%
	水の供給 補助金	128	0	0	0	0	0	0.0%
	水の供給 繰入金	714	422	204	128	0	△ 128	皆減
水の供給 固定資産 売却収入	15,895	1	0	0	2	2	皆増	
収 入 計	1,172,491	801,229	892,617	931,069	1,054,440	123,371	13.3%	

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
支	建設改良費	2,230,577	2,188,771	2,262,569	2,320,728	2,672,288	351,560	15.1%
	(うち職員給与費)	(93,377)	(93,169)	(91,349)	(87,886)	(92,954)	(5,068)	(5.8%)
	土地	0	0	0	973	3,927	2,954	303.6%
	建物	4,588	6,188	43,409	83,597	511,447	427,850	511.8%
	構築物	29,756	163,761	255,579	90,994	32,043	△ 58,951	△ 64.8%
	機械装置	118,787	60,314	112,414	58,709	229,567	170,858	291.0%
	車両運搬具	4,685	10,297	2,347	6,746	542	△ 6,204	△ 92.0%
	工具器具備品	15,312	23,701	3,877	6,750	22,961	16,211	240.2%
	水道メーター	3,942	3,942	3,798	4,048	3,487	△ 561	△ 13.9%
	導管本支管	1,715,529	1,552,642	1,497,574	1,743,985	1,582,727	△ 161,258	△ 9.2%
	導管給水管	248,522	276,296	287,742	289,853	268,386	△ 21,467	△ 7.4%
	導水管	0	42,797	15,929	3,343	8,460	5,117	153.1%
	ソフトウェア	8,150	2,370	30,618	24,736	0	△ 24,736	皆減
	広域施設設備	81,306	46,463	9,282	6,994	8,741	1,747	25.0%
出	企業債償還金	1,105,630	1,077,757	1,076,928	1,090,757	1,111,893	21,136	1.9%
	企業債償還金	889,531	881,186	891,198	903,382	920,187	16,805	1.9%
	広域施設 企業債償還金	216,099	196,571	185,730	187,375	191,706	4,331	2.3%
	用水供給 本給出	16,644	13,601	10,914	10,879	11,218	339	3.1%
	用水供給 建設改良給	4,550	2,600	519	392	489	97	24.7%
	用水供給 企業債償還金	12,094	11,001	10,395	10,487	10,729	242	2.3%
支出計	3,352,851	3,280,129	3,350,411	3,422,364	3,795,399	373,035	10.9%	
差引不足額	2,180,360 (2,211,003)	2,478,900 (2,514,252)	2,457,794 (2,501,194)	2,491,295 (2,542,083)	2,740,959 (2,791,021)	249,664 (248,938)	10.0% (9.8%)	
補填財源	過年度分損益勘定 留保資金	139,809	303,056	161	125,924	144,463	18,539	14.7%
	当年度分損益勘定 留保資金	1,574,194	1,888,196	1,804,033	1,808,159	1,749,558	△ 58,601	△ 3.2%
	減債積立金	180,000	97,000	286,000	249,000	341,000	92,000	36.9%
	建設改良積立金	317,000	226,000	411,000	359,000	556,000	197,000	54.9%
	計	2,211,003	2,514,252	2,501,194	2,542,083	2,791,021	248,938	9.8%
企業債残高	17,550,522	16,661,764	15,774,441	14,873,198	13,950,576	△ 922,622	△ 6.2%	

※括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の不足額

収益的収支

資本的収支

収入：62億6,037万円

支出：51億4,227万円

収入：10億5,444万円

支出：37億9,539万円

水道料金収入 46億5,256万円
その他の収入 2億8,529万円
長期前受金戻入 13億2,252万円

人件費 6億2,740万円
修繕費 1億7,735万円
動力・薬品費 1億6,073万円
委託料など 8億5,997万円
支払利息 2億7,386万円
減価償却費 30億4,293万円
収支差引額（利益） 11億1,809万円

企業債 2億円
補助金 2億2,904万円
工事負担金 4億1,756万円
繰入金 1億1,290万円
固定資産売却収入 9,493万円
収支不足額 27億4,095万円

建設改良費 26億7,277万円
企業債償還金 11億2,262万円

留保資金等
補填財源
（減価償却費から長期前受金戻入分の金額を除いた額）

減価償却費等の損益勘定留保資金等で補填する。

3 決算主要項目の内容

(1) 収益的収支

単位：千円

(収益的収入) 予 算 額	決 算 額	予算額と決算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳					
			営業収益	営業雑収益	営業外収益	用水供給事業収益	特別利益	
6,796,158	6,744,421	△ 51,737	△ 26,661	945	△ 29,260	3,239	0	
(収益的支出) 予 算 額	決 算 額	不 用 額	不 用 額 の 内 訳					
			営業費用	営業雑費用	営業外費用	用水供給事業費用	特別損失	予備費
5,583,796	5,442,224	141,572	136,584	245	728	2,992	23	1,000

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額のため、上表の金額とは異なる

①収益的収入

◇有収水量の減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う水道料金の減免等により、給水収益は1.0%減少

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
給 水 収 益	4,698,294	4,652,565	△ 45,729

○水道口径別使用量・料金実績

1) 戸数

単位：戸；件

口径別	元年度		2年度		増 減		増 減 率		構 成 比	
	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	
									元年度	2年度
13mm	46,980	568,443	46,654	564,908	△ 326	△ 3,535	△ 0.7%	△ 0.6%	54.8%	54.3%
20mm	35,780	427,505	36,326	434,218	546	6,713	1.5%	1.6%	41.7%	42.2%
25mm	1,919	23,016	1,927	23,214	8	198	0.4%	0.9%	2.2%	2.3%
30mm	336	4,135	334	4,029	△ 2	△ 106	△ 0.6%	△ 2.6%	0.4%	0.4%
40mm	467	5,660	460	5,598	△ 7	△ 62	△ 1.5%	△ 1.1%	0.6%	0.5%
50mm	186	2,248	188	2,245	2	△ 3	1.1%	△ 0.1%	0.2%	0.2%
75mm	114	1,390	113	1,364	△ 1	△ 26	△ 0.9%	△ 1.9%	0.1%	0.1%
100mm	4	57	4	48	0	△ 9	0.0%	△ 15.8%	0.0%	0.0%
150mm	4	48	4	48	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	85,790	1,032,502	86,010	1,035,672	220	3,170	0.3%	0.3%	100.0%	100.0%

2) 使用量

単位：m³

口径別	使 用 量		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 量		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
13mm	7,647,758	7,698,139	50,381	0.7%	34.7%	35.0%	13.5	13.6	0.7%
20mm	8,824,378	9,106,680	282,302	3.2%	40.0%	41.3%	20.6	21.0	1.9%
25mm	884,788	843,886	△ 40,902	△ 4.6%	4.0%	3.8%	38.4	36.4	△ 5.2%
30mm	456,816	416,970	△ 39,846	△ 8.7%	2.1%	1.9%	110.5	103.5	△ 6.3%
40mm	1,176,224	1,075,032	△ 101,192	△ 8.6%	5.3%	4.9%	207.8	192.0	△ 7.6%
50mm	1,002,973	928,308	△ 74,665	△ 7.4%	4.5%	4.2%	446.2	413.5	△ 7.3%
75mm	1,829,631	1,740,552	△ 89,079	△ 4.9%	8.3%	7.9%	1,316.3	1,276.1	△ 3.1%
100mm	61,778	59,158	△ 2,620	△ 4.2%	0.3%	0.3%	1,083.8	1,232.5	13.7%
150mm	174,185	149,121	△ 25,064	△ 14.4%	0.8%	0.7%	3,628.9	3,106.7	△ 14.4%
合 計	22,058,531	22,017,846	△ 40,685	△ 0.2%	100.0%	100.0%	21.4	21.3	△ 0.5%

3) 料金

単位：円

口径別	料 金		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸当たり使用料		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
13mm	1,314,349,937	1,318,644,404	4,294,467	0.3%	28.0%	28.3%	2,312	2,334	1.0%
20mm	1,817,713,537	1,865,768,564	48,055,027	2.6%	38.7%	40.1%	4,252	4,297	1.1%
25mm	187,530,235	177,543,756	△9,986,479	△5.3%	4.0%	3.8%	8,148	7,648	△6.1%
30mm	109,414,683	100,194,666	△9,220,017	△8.4%	2.3%	2.1%	26,461	24,868	△6.0%
40mm	391,676,283	361,645,569	△30,030,714	△7.7%	8.3%	7.8%	69,201	64,603	△6.6%
50mm	336,986,389	316,408,933	△20,577,456	△6.1%	7.2%	6.8%	149,905	140,939	△6.0%
75mm	474,613,188	454,358,770	△20,254,418	△4.3%	10.1%	9.8%	341,448	333,108	△2.4%
100mm	23,495,075	21,320,032	△2,175,043	△9.3%	0.5%	0.5%	412,194	444,167	7.8%
150mm	42,514,248	36,680,072	△5,834,176	△13.7%	0.9%	0.8%	885,714	764,168	△13.7%
合 計	4,698,293,575	4,652,564,766	△45,728,809	△1.0%	100.0%	100.0%	4,550	4,492	△1.3%

○水道用途区分別使用量・料金実績

1) 戸数

単位：戸；件

用途区分	元年度		2年度		増 減		増 減 率		構 成 比	
	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	
									元年度	2年度
家庭用	78,569	944,960	78,900	948,950	331	3,990	0.4%	0.4%	91.6%	91.8%
工業用	276	3,322	274	3,310	△2	△12	△0.7%	△0.4%	0.3%	0.3%
商業用	5,070	61,252	5,008	60,597	△62	△655	△1.2%	△1.1%	5.9%	5.8%
官庁・学校用	1,869	22,896	1,822	22,743	△47	△153	△2.5%	△0.7%	2.2%	2.1%
船舶用	4	48	4	48	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2	24	2	24	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	85,790	1,032,502	86,010	1,035,672	220	3,170	0.3%	0.3%	100.0%	100.0%

2) 使用量

単位：m³

用途区分	使 用 量		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸当たり使用量		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
家庭用	16,093,649	16,468,187	374,538	2.3%	73.0%	74.8%	17.0	17.4	2.4%
工業用	1,588,632	1,540,072	△48,560	△3.1%	7.2%	7.0%	478.2	465.3	△2.7%
商業用	2,381,625	2,133,763	△247,862	△10.4%	10.8%	9.7%	38.9	35.2	△9.5%
官庁・学校用	1,931,843	1,826,179	△105,664	△5.5%	8.7%	8.3%	84.4	80.3	△4.9%
船舶用	24,186	15,757	△8,429	△34.9%	0.1%	0.1%	503.9	328.3	△34.8%
その他	38,596	33,888	△4,708	△12.2%	0.2%	0.1%	1,608.2	1,412.0	△12.2%
合 計	22,058,531	22,017,846	△40,685	△0.2%	100.0%	100.0%	21.4	21.3	△0.5%

3) 料金

単位：円

用途区分	料 金		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸当たり使用料		
	元年度	2年度			元年度	2年度	元年度	2年度	増減率
家庭用	3,049,250,536	3,110,110,591	60,860,055	2.0%	64.9%	66.8%	3,227	3,277	1.5%
工業用	393,728,207	383,531,076	△10,197,131	△2.6%	8.4%	8.2%	118,521	115,870	△2.2%
商業用	651,941,129	584,420,160	△67,520,969	△10.4%	13.9%	12.6%	10,644	9,644	△9.4%
官庁・学校用	594,693,139	568,120,617	△26,572,522	△4.5%	12.6%	12.2%	25,974	24,980	△3.8%
船舶用	6,100,184	4,121,202	△1,978,982	△32.4%	0.1%	0.1%	127,087	85,858	△32.4%
その他	2,580,380	2,261,120	△319,260	△12.4%	0.1%	0.1%	107,516	94,213	△12.4%
合 計	4,698,293,575	4,652,564,766	△45,728,809	△1.0%	100.0%	100.0%	4,550	4,492	△1.3%

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
営 業 雑 収 益	14,677	12,825	△ 1,852

○年度末給水戸数 86,010 戸

令和2年度実績

受注工事収益（修繕） 1,120 千円

その他営業雑収益（設計審査手数料等） 11,705 千円

単位：件

	新設工事	改造工事	撤去工事	その他	合 計
元年度	724	638	408	72	1,842
2年度	633	539	272	81	1,525
比 較	△ 91	△ 99	△ 136	9	△ 317

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
営 業 外 収 益	1,613,724	1,502,611	△ 111,113

○加入金実績

単位：個；千円

	元年度		2年度		比 較	
取付水道メーター	1,105	49,294	907	39,204	△ 198	△ 10,090
口径変更による差額	185	9,490	162	8,864	△ 23	△ 626
計	1,290	58,784	1,069	48,068	△ 221	△ 10,716

○その他営業外収益

単位：千円

		元年度	2年度	比 較
受 取 利 息	預金利息	1,262	2,760	1,498
	貸付金利息	88	1,088	1,000
	小 計	1,350	3,848	2,498
繰 入 金	児童手当	7,633	7,104	△ 529
	高料金対策	85,817	21,797	△ 64,020
	統合水道	4,433	4,067	△ 366
	建設改良に要する経費	29,515	27,497	△ 2,018
	小 計	127,398	60,465	△ 66,933
長期前受金戻入	長期前受補助金戻入	207,201	213,821	6,620
	長期前受工事負担金戻入	727,990	705,583	△ 22,407
	長期前受受贈財産評価額戻入	17,943	15,446	△ 2,497
	長期前受繰入金戻入	132,387	123,140	△ 9,247
	長期前受寄附金戻入	200	200	0
小 計	1,085,721	1,058,190	△ 27,531	
雑 収 益	貸付料	3,351	2,905	△ 446
	下水等受託収益	61,062	61,093	31
	補償修繕収益	3,904	3,124	△ 780
	消火栓維持管理費	7,079	10,830	3,751
	脱水ケーキ売却代	200	149	△ 51
	原子力立地給付金	1,168	1,234	66
	原発事故損害賠償金	181	183	2
	不用品売却収益	489	254	△ 235
	その他	3,441	663	△ 2,778
小 計	80,875	80,435	△ 440	
広 域 施 設 営 業 外 収 益	児童手当繰入金	644	483	△ 161
	貸付料	111	106	△ 5
	脱水ケーキ売却代	122	78	△ 44
	原子力立地給付金	640	618	△ 22
	長期前受金戻入	258,079	250,320	△ 7,759
	小 計	259,596	251,605	△ 7,991
合 計	1,554,940	1,454,543	△ 100,397	

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
用水供給営業収益 (給水収益)	74,095	78,288	4,193

○令和2年度年間有収水量 806,455m³ (令和元年度 730,950m³)

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
用水供給営業外収益	14,528	14,081	△ 447

○用水供給営業外収益の内訳

単位：千円

	元年度	2年度	比 較
児童手当繰入金	36	27	△ 9
貸付料	5	6	1
脱水ケーキ売却代	7	4	△ 3
原子力立地給付金	36	35	△ 1
長期前受金戻入	14,444	14,009	△ 435
計	14,528	14,081	△ 447

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
特 別 利 益 (用水供給特別利益を含む)	4,226	0	△ 4,226

- ・令和元年度は本道浄水場用地売却に伴う収益を計上したが、令和2年度は特別利益がないため皆減

②収益的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

◇広域施設の法定耐用年数の経過に伴い減価償却費等が減少したことから収益的支出全体で0.8%減少

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
浄水場運転管理業務	292,377	295,741	3,364
経費内訳			
報酬	1,764	光熱燃料費	3,497
法定福利費	216	通信運搬費	7,090
備用品費	4,158	委託料	181,297
旅費交通費	32	手数料	772
動力費	65,837	薬品費	31,078
【目的】 安定給水を継続するため、浄水場の適正な運転管理を行う。			
【概要及び成果】 浄水処理量や水源水質に対応した薬品管理、配水運用の見直しなど、適正かつ効率的な運転管理により、安全で安定した水づくりを行うとともに経費の削減に努めた。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,292 千円
動力費	各水源及び浄水場動力費		65,837 千円
委託料	浄水場運転管理業務委託料		168,500 千円
薬品費	次亜塩素酸ナトリウム等購入費		31,078 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
浄水施設維持管理業務	76,961	98,394	21,433
経費内訳			
備用品費	95	委託料	6,729
修繕費	44,804	手数料	521
光熱燃料費	373	租税課金	32
賃借料	384	雑費	9,927
保険料	2,284	固定資産除却費	33,223
通信運搬費	22		
【目的】 設備の点検整備を計画的に行うことで施設の長寿命化を図る。			
【概要及び成果】 故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備及び修繕を行い、設備の長寿命化を図ったが、機械機器等の緊急修繕費が増加した。			
＜主な費用＞			
修繕費	城山浄水場濃縮槽引抜ストレーナ交換工事	1,980 千円	
	法花寺浄水場No. 2配水池内面防水工事	7,280 千円	
	不動浄水場導水管路防護工事	4,882 千円	
	柿崎川浄水場ワンループコントローラ取替工事	7,500 千円	
委託料	浄水施設維持管理業務委託料等	6,729 千円	
雑費	水源かん養助成金	4,016 千円	
	横畑頭首工管理道路整備負担金	3,097 千円	
固定資産除却費	旧上下浜浄水場解体撤去工事	33,223 千円	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 水質検査業務	46,579	44,242	△ 2,337
経費内訳			
備用品費	428	委託料	5,188
修繕費	43	手数料	37,892
光熱燃料費	172	租税課金	7
保険料	26	薬品費	486
【目的】 安全な水道水を給水するため、水道法に基づく水質検査を実施する。			
【概要及び成果】 法令及び市独自の検査項目を選定し、水質検査を実施した。検査回数及び検査箇所を精査し、経費の削減に努めた。			
＜主な費用＞			
委託料	管末毎日水質検査委託料	4,855 千円	
手数料	水質検査手数料など	37,892 千円	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 水源かん養業務	1,261	732	△ 529
経費内訳			
雑費	732		
【目的】 水道水源の水質汚濁を防止し、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に給水できる水源を確保する。			
【概要及び成果】 水源保護啓発看板を5か所設置したほか、植林地の育成確認と、施設見学を通じて水源の重要性について啓発を行った。			
＜主な費用＞			
雑費	水源保護啓発看板設置（5か所）	676 千円	
	啓発パンフレットの作成	56 千円	
【課題及び今後の方向性】			
<p>今後も育成管理のため、毎年9月頃に育成状況を確認・記録し、その状況により必要な処置を行っていく。また、水道水源の水質汚濁を防止するための啓発活動を行っていく。</p>			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較															
共同施設管理業務	67,938	54,458	△ 13,480															
経費内訳																		
共同施設管理分担費	54,312	ダム使用料	146															
【目的】 ダム施設を適正に維持管理し修繕工事を行うことで、正常な機能を維持する。																		
【概要及び成果】 新潟県が管理する後谷ダム、正善寺ダム及び柿崎川ダムの維持管理費及び運営費について、県との協定に基づく負担割合に応じて費用を負担した。 後谷ダム等における修繕工事費が減少した。																		
<p><協定における負担割合></p> <table> <tr> <td>【後谷ダム】</td> <td>新潟県</td> <td>68.9%</td> <td>上越市</td> <td>31.1%</td> </tr> <tr> <td>【正善寺ダム】</td> <td>新潟県</td> <td>58.8%</td> <td>上越市</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>【柿崎川ダム】</td> <td>新潟県</td> <td>82.5%</td> <td>上越市</td> <td>17.5%</td> </tr> </table>				【後谷ダム】	新潟県	68.9%	上越市	31.1%	【正善寺ダム】	新潟県	58.8%	上越市	41.2%	【柿崎川ダム】	新潟県	82.5%	上越市	17.5%
【後谷ダム】	新潟県	68.9%	上越市	31.1%														
【正善寺ダム】	新潟県	58.8%	上越市	41.2%														
【柿崎川ダム】	新潟県	82.5%	上越市	17.5%														
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>共同施設管理分担費</td> <td>54,312 千円</td> </tr> <tr> <td>ダム使用料</td> <td>146 千円</td> </tr> </table>				共同施設管理分担費	54,312 千円	ダム使用料	146 千円											
共同施設管理分担費	54,312 千円																	
ダム使用料	146 千円																	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
配水施設維持管理業務	158,632	174,883	16,251
経費内訳			
報酬	6,059	賃借料	2,221
手当	213	保険料	715
法定福利費	982	通信運搬費	10,308
備用品費	1,741	委託料	21,726
旅費交通費	255	手数料	769
修繕費	18,651	租税課金	36
動力費	63,338	固定資産除却費	42,748
光熱燃料費	5,121		
【目的】 安全で安定した給水を行うため、配水施設の点検整備等を行い設備の長寿命化を図る。			
【概要及び成果】 故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備及び修繕を行い、設備の長寿命化を図った。 管網整備により不用となった管路の撤去工事に伴い、導管本支管撤去費が増加した。			
＜主な費用＞			
修繕費	丹原ポンプ場他雷害対策工事	2,540 千円	
	南部営業所遠方監視装置移設工事	3,390 千円	
	南部営業所事務所改修工事	1,899 千円	
動力費	ポンプ場等配水動力費	63,338 千円	
委託料	維持管理業務委託料	13,731 千円	
固定資産除却費	導管本支管撤去工事	42,639 千円	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
水道管修繕業務	92,891	102,741	9,850
経費内訳			
報酬	1,232	修繕費	99,181
手当	46	光熱燃料費	969
法定福利費	180	保険料	342
備用品費	595	印刷製本費	22
旅費交通費	30	租税課金	144
【特定財源】			
その他雑収益	13,953		
【目的】			
水道管の漏水及び給水に係る事故の未然防止と拡大防止を図る。			
【概要及び成果】			
水道管の漏水や急を要する他工事の支障移転に迅速に対応し、安定供給の継続を図った。			
本支管・給水管修理件数 170件（令和元年度：215件）			
＜主な費用＞			
修繕費	責任修繕工事委託料	63,082 千円	
	責任修繕工事舗装本復旧費	15,595 千円	
	補償修繕工事委託料	11,305 千円	
	広域施設送水管修繕工事委託料	4,822 千円	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較						
水道メーター取替業務	49,148	43,111	△ 6,037						
経費内訳									
報酬	1,292	光熱燃料費	56						
手当	46	保険料	28						
法定福利費	212	通信運搬費	574						
備用品費	50	委託料	27,276						
旅費交通費	32	印刷製本費	132						
修繕費	13,413								
【目的】 計量法に基づき検定満期を迎える水道メーターを取り替える。									
【概要及び成果】 検定満期を迎える水道メーターを計画的に取り替えた。									
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>修繕費</td> <td>取替用水道メーター（取替数11,264個）</td> <td>13,079 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>取替業務委託料</td> <td>27,276 千円</td> </tr> </table>				修繕費	取替用水道メーター（取替数11,264個）	13,079 千円	委託料	取替業務委託料	27,276 千円
修繕費	取替用水道メーター（取替数11,264個）	13,079 千円							
委託料	取替業務委託料	27,276 千円							

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較						
受注工事業務	2,400	2,163	△ 237						
経費内訳									
備用品費	69	賃借料	402						
修繕費	545	委託料	1,147						
【特定財源】 受注工事収益 1,120									
【目的】 安全で安定した給水を行うための給水装置工事の施工に係る管理を行う。									
【概要及び成果】 申込みのあった給水装置工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。									
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>賃借料</td> <td>受付システムリース料</td> <td>402 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>工事受付システム維持管理費</td> <td>1,147 千円</td> </tr> </table>				賃借料	受付システムリース料	402 千円	委託料	工事受付システム維持管理費	1,147 千円
賃借料	受付システムリース料	402 千円							
委託料	工事受付システム維持管理費	1,147 千円							

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 漏水調査業務	1,790	1,820	30
経費内訳			
委託料	1,820		
【目的】 漏水調査により、突発的な断減水などの事故を未然に防ぐとともに、有収率の維持向上を図る。また、施設の運転負荷を軽減し経費の削減を図る。			
【概要及び成果】 水道使用量の検針時に合わせて漏水調査を実施し、22件の漏水の発見・修理を行うことにより有収率の向上を図った。 ＜主な費用＞ 委託料 戸別音聴調査業務委託料（18,204戸） 1,820千円			
【課題及び今後の方向性】 今後4年間で市内全域を一巡するよう給水区域を分割し計画的に調査を行う。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 鉛製給水管対策業務	0	0	0
【目的】 安全に水道水を使用していただくよう、需要家の敷地に埋設されている鉛製給水管の取替えについて周知及び啓発を行う。			
【概要及び成果】 需要家に対し改善工事の趣旨を説明し、鉛製給水管の削減を図った。 平成30年度からガスの供給区域内の需要家に対しては、ガス定期保安調査時に合わせ説明を行い、供給区域外の需要家においては4年に1回ダイレクトメール等による周知を行っている。次回のダイレクトメール等による周知は令和4年度に実施する予定としている。 ガス定期保安調査等折衝時周知250件 改善件数25件			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
貯水槽水道・専用水道 管 理 業 務	38	30	△ 8
経費内訳			
備用品費	3	通信運搬費	27
【目的】 貯水槽給水施設の管理基準を定めることにより、衛生的で安全な飲料水の給水を確保し、公衆衛生の向上を図る。			
【概要及び成果】 貯水槽給水施設の管理者からの点検報告により、維持管理状況の確認を行い、施設の不備があった場合は、技術基準に適合するよう設置者に対し、指導、助言を行った。			
＜主な費用＞			
通信運搬費	周知ハガキの送付	27	千円
＜件数＞			
設置届、廃止届、施設の変更		21	件
指導、助言の件数		20	件

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
マッピングシステム整備業務	5,626	7,984	2,358
経費内訳			
報酬	2,954	旅費交通費	93
手当	106	委託料	4,340
法定福利費	491		
【目的】 ガス水道管路情報システム（マッピング）の管理を行い、水道施設の維持管理及び将来計画に活用する。			
【概要及び成果】 工事竣工に伴う水道管情報の修正などを行い、システムを適正に維持管理した。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 2人	2,954	千円
委託料	マッピングシステムソフト保守業務委託料	4,340	千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較												
料金徴収委託業務	131,668	145,833	14,165												
経費内訳															
備用品費	234	通信運搬費	8,795												
修繕費	64	委託料	134,064												
賃借料	2,519	手数料	157												
【特定財源】 その他雑収益	61,093														
【目的】 民間ノウハウを活用することで、事務効率の向上とお客様サービスの充実を図る。															
【概要及び成果】 民間事業者に包括的な料金徴収業務を委託し、民間のノウハウを活用したことにより、収納率は中期経営計画の計画値99.5%に対し、実績値は99.7%となり、0.2ポイント上回る事ができた。 契約更新に伴い料金等徴収業務委託料が増加した。															
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>賃借料</td> <td>料金システムリース料</td> <td>2,519 千円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>料金納入令書等郵送料</td> <td>8,795 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>料金等徴収業務委託料</td> <td>123,863 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>料金口座振替及びコンビニ収納手数料</td> <td>9,182 千円</td> </tr> </table>				賃借料	料金システムリース料	2,519 千円	通信運搬費	料金納入令書等郵送料	8,795 千円	委託料	料金等徴収業務委託料	123,863 千円		料金口座振替及びコンビニ収納手数料	9,182 千円
賃借料	料金システムリース料	2,519 千円													
通信運搬費	料金納入令書等郵送料	8,795 千円													
委託料	料金等徴収業務委託料	123,863 千円													
	料金口座振替及びコンビニ収納手数料	9,182 千円													
【課題及び今後の方向性】															
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>民間事業者に包括的な料金徴収業務を引き続き委託することにより、収納率の維持向上に努めるとともに、受託業者と日常的に情報や課題を共有することにより、お客さまサービスの充実に取り組んでいく。</p> </div>															

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較						
無線設備管理業務	83	288	205						
経費内訳									
修繕費	55	手数料	185						
通信運搬費	48								
【目的】 漏水対応や災害時などにおける緊急連絡用無線設備を適正に維持管理する。									
【概要及び成果】 電波法に基づく許可申請及び設備の維持管理を行った。									
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>修繕費</td> <td>無線機器等修理費</td> <td>55 千円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>無線局電波利用料</td> <td>185 千円</td> </tr> </table>				修繕費	無線機器等修理費	55 千円	手数料	無線局電波利用料	185 千円
修繕費	無線機器等修理費	55 千円							
手数料	無線局電波利用料	185 千円							
【課題及び今後の方向性】									
<p>無線設備規則の改正により、現在使用している39台の無線機は令和4年12月以降使用できなくなることから、必要台数を精査し新規格に適合したものに入れ替える。</p>									

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較						
局ネットワーク管理業務	3,361	4,171	810						
経費内訳									
備用品費	169	通信運搬費	401						
賃借料	150	委託料	3,451						
【目的】 局のネットワーク、サーバ機器等について、セキュリティを含め適正に維持管理する。									
【概要及び成果】 局のネットワーク及びOA機器等の管理を適正に行った。									
<p><主な費用></p> <table> <tr> <td>委託料</td> <td>電算処理運用支援業務委託料</td> <td>2,088 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>局内イントラネット保守業務委託料</td> <td>1,327 千円</td> </tr> </table>				委託料	電算処理運用支援業務委託料	2,088 千円		局内イントラネット保守業務委託料	1,327 千円
委託料	電算処理運用支援業務委託料	2,088 千円							
	局内イントラネット保守業務委託料	1,327 千円							

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
入札業務	1,417	1,627	210
経費内訳			
備用品費	33	印刷製本費	1
賃借料	16	負担金及び補助	1,576
委託料	1		
【目的】 建設工事等について、透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に執行する。			
【概要及び成果】 建設工事等を透明性の高い電子入札システムにより執行した。また、ガス水道本支管工事において、制限付き一般競争入札や「一抜け方式」を引き続き実施するなど、公平性及び競争性の確保に努めた。 <主な費用> 備用品費 電子入札システム用 I Cカード購入 16 千円 負担金及び補助 電子入札システム使用負担金 1,563 千円			
【課題及び今後の方向性】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に実施するため、法令改正や国、県及び他市の動向を注視し、必要に応じて入札制度の見直しを行う。 </div>			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
庁舎維持管理業務	7,054	31,323	24,269
経費内訳			
備用品費	23,509	通信運搬費	475
修繕費	320	委託料	3,543
光熱燃料費	2,505	手数料	834
賃借料	56	雑費	40
保険料	41		
【特定財源】			
その他雑収益	1,996		
【目的】	本局庁舎を適切に維持管理することにより、来庁者や職員の利便性及び安全性を確保する。		
【概要及び成果】	<p>本局庁舎の施設及び設備の定期的な保守点検等を実施し安全性を確保するとともに、庁舎設備の故障等に速やかに対応した。</p> <p>新庁舎において来庁者や職員の利便性を確保するため、必要な備品を配置したことにより備用品費が増加した。</p>		
＜主な費用＞			
備用品費	新庁舎関連備品費		23,509 千円
光熱燃料費	庁舎電気料		1,319 千円
委託料	庁舎維持管理業務委託料		2,183 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
経 理 業 務	910	992	82
経費内訳			
委託料	974	負担金及び補助	9
印刷製本費	9		
【目的】 地方公営企業法を始めとする関係法令に基づき適正な会計処理を行うことにより、事業経営の健全性を維持する。			
【概要及び成果】 上越市ガス水道事業会計規程に基づく経理処理を行うとともに、会計システムを適正に管理した。			
＜主な費用＞			
委託料	企業会計システム保守業務委託料	974 千円	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 職 員 研 修	343	86	△ 257
経費内訳			
備用品費	20	負担金及び補助	61
旅費交通費	5		
【目的】 外部研修、内部研修を通じて職員の知識及び技術力の向上を図る。			
【概要及び成果】 職員の技術や知識の向上・継承のため、水道管接続を行う実地研修や災害時における給水支援活動向上研修などを実施した。			
＜主な費用＞			
旅費交通費	研修会旅費交通費	5 千円	
負担金及び補助	研修会参加費等	61 千円	
【課題及び今後の方向性】			
職員の技術のより一層の向上、維持を図るため、定期的に職員の間目標とする技術力の到達度を確認するとともに、研修カリキュラムを検証し、効率的、効果的な研修を進めていく。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他営業費用	3,936,808	3,848,249	△ 88,559

経費内訳

報酬	1,292	通信運搬費	69
給料	287,427	委託料	3,008
手当	134,404	手数料	132
賞与引当金繰入額	37,018	印刷製本費	111
法定福利費	89,193	交際費	10
法定福利費引当金繰入額	7,280	負担金及び補助	1,234
厚生福利費	462	食糧費	1
退職給付費	48,335	租税課金	15
備用品費	3,327	需要開発費	339
旅費交通費	124	貸倒引当金繰入額	123
修繕費	282	雑費	327
光熱燃料費	235	固定資産除却費	188,785
賃借料	182	減価償却費	3,042,939
保険料	1,595		

【概要及び成果】

法定耐用年数の経過に伴い減価償却費等が減少したため、前年度に比べその他営業費用が減少した。

<主な費用>

職員給与費（営業費用及び用水供給営業費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	72人	290,612	178,013	46,941	97,779	613,345
2年度	70人	287,427	171,331	48,335	96,246	603,339
比較	△2人	△ 3,185	△ 6,682	1,394	△ 1,533	△ 10,006

※管理者給与費含む

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較			
その他営業雑費用	7,560	7,146	△ 414			
経費内訳						
給料	3,385	法定福利費	1,171			
手当	2,028	法定福利費引当金繰入額	88			
賞与引当金繰入額	466	厚生福利費	8			
【概要及び成果】						
申込みのあった給水装置工事の設計審査及び竣工検査を実施するとともに、適切な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。						
＜主な費用＞						
職員給与費（営業雑費用に係る職員分）			単位：千円			
	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	1人	3,303	2,928	0	1,321	7,552
2年度	1人	3,385	2,494	0	1,259	7,138
比較	0人	82	△ 434	0	△ 62	△ 414

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
支払利息	298,017	273,864	△ 24,153
経費内訳			
企業債利息	273,864		
【目的】			
既発行企業債に係る利息を確実に支払うとともに、新規発行を抑制して支払利息の削減を行い、将来の財務負担を軽減する。			
【概要及び成果】			
中長期的な経営収支見通しに基づき、内部留保資金を活用し企業債の新規発行額を抑制することにより、支払利息額が着実に減少した。			
＜支払先＞			
財務省	143,918 千円	市内金融機関	229 千円
地方公共団体金融機構	129,717 千円		

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他営業外費用	1,828	2,401	573
経費内訳			
雑支出	2,340	固定資産売却損	61
【概要及び成果】			
＜主な費用＞			
雑支出	福島第一・第二原発事故に伴う水質検査に係る費用		168千円
	消費税納税計算に伴う支出		1,772千円
固定資産売却損	車両入替に伴う売却損		61千円

(2) 資本的収支

単位：千円

(資本的収入) 予算額	決算額	翌年度繰越 財源額	予算額と決 算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳					
				企業債	補助金	工事負担金	繰入金	固定資産売却収入	用水供給資本的収入
1,064,207	1,079,536	39,360	15,329	0	29,757	△8,595	△2	△5,833	2
(資本的支出) 予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	不用額の内訳					
				建設改良費	企業債償還金	用水供給資本的支出			
4,849,285	4,052,920	646,975	149,390	149,179	19	192			

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているため、上表の金額とは異なる

①資本的収入

◇新庁舎への移転に伴う旧ガス水道局庁舎売却により固定資産売却収入が増加したことから資本的収入全体で13.3%増加

単位：千円

項目	元年度決算	2年度決算	比較
企業債	200,000	200,000	0

○借入先・借入条件

地方公共団体金融機構 償還方法 5年据置25年半年賦元金均等償還 利率 0.5%

単位：千円

項目	元年度決算	2年度決算	比較
補助金	242,988	229,046	△13,942

- 生活基盤施設耐震化等交付金（重要給水施設配水管） 178,888千円
- 生活基盤施設耐震化等交付金（水道管緊急改善事業） 20,401千円
- 新庁舎地中熱融雪設備設置工事に係る補助金 29,757千円
（エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金）

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
工 事 負 担 金	376,938	417,561	40,623

○下水道工事等に伴う移設補償費及び消火栓設置工事等に伴う負担金

単位：千円

区 分	元年度	2年度	比 較
区画整理・団地	36,146	71,716	35,570
一般他工事関連	33,165	36,870	3,705
下水道関連	181,096	173,145	△ 7,951
消火栓設置	48,514	51,516	3,002
支管・給水管関連	78,017	84,314	6,297
合 計	376,938	417,561	40,623

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
繰 入 金	110,705	112,901	2,196

○繰入金

112,901 千円

・統合水道一般会計繰入金

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
固 定 資 産 売 却 収 入	310	94,930	94,620

○新庁舎への移転に伴い、一般会計へ旧ガス水道局庁舎を売却

固定資産売却収入総額 216,454 千円

(内訳)

ガス事業会計分 121,569 千円

水道事業会計分 94,885 千円

※固定資産帳簿価額により売却

○車両売却収入

45 千円

・雪上車

・普通乗用自動車1台

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
用 水 供 給 資 本 的 収 入	128	2	△ 126

○車両売却収入

2 千円

・普通乗用自動車1台

②資本的支出

◇基幹管路の更新を優先的に進め、基幹管路耐震適合率が37.8%に上昇

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎浄水施設更新事業	19,696	240,673	220,977
経費内訳			
建物	2,910	機械装置	217,963
構築物	19,800		
【目的】 老朽化した浄水施設の更新を行い、安全で安定した給水を図る。			
【概要及び成果】 アセットマネジメント（資産管理）で設定した計画耐用年数を基に施設の更新を行うことにより更新費用の抑制を図った。 老朽化に伴う深谷浄水場の機械装置の改修工事の実施により、事業費が増加した。			
＜主な費用＞			
構築物	城山浄水場更新事業基本設計等業務委託料	19,800 千円	
機械装置	深谷浄水場配水ポンプ更新工事	31,448 千円	
	深谷浄水場計装・電気設備改修工事	121,644 千円	
	深谷浄水場浄水処理施設更新工事	33,300 千円	
	城山浄水場沈殿池上澄水濁度計設置工事	8,080 千円	
【課題及び今後の方向性】 令和5年度を始期とする第3次中期経営計画策定に併せ、現行のアセットマネジメントを見直し、令和5年度から40年間の更新需要を把握し、老朽化した浄水施設の更新を計画的に実施していく。			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 配水施設更新事業	163,831	33,279	△ 130,552
経費内訳			
土地	3,927	構築物	12,243
建物	1,733	機械装置	15,376
【特定財源】 補助金	3,109		
【目的】 老朽化した配水施設の更新を行い、安全で安定した給水を図る。			
【概要及び成果】 アセットマネジメント（資産管理）で設定した計画耐用年数を基に施設の更新を行うことにより、更新費用の抑制を図った。 前年度に中田新田配水場や三和区下中配水場の建設が完了したことから、事業費が減少した。			
＜主な費用＞			
土地	安江2丁目送水管用地取得費（120㎡）	2,066 千円	
構築物	大湊配水場建設工事実施設計業務委託料	8,480 千円	

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 基幹管路耐震化事業	783,795	656,165	△ 127,630

経費内訳

導水管	8,460	導管本支管	647,705
【特定財源】 補助金	196,180	企業債	200,000

【目的】

地震等による断減水区域を縮小し災害復旧期間を短縮するため、給水区域を結ぶ基幹管路の耐震化を進め、災害に強い水道給水網を構築し、安全で安定した給水を図る。

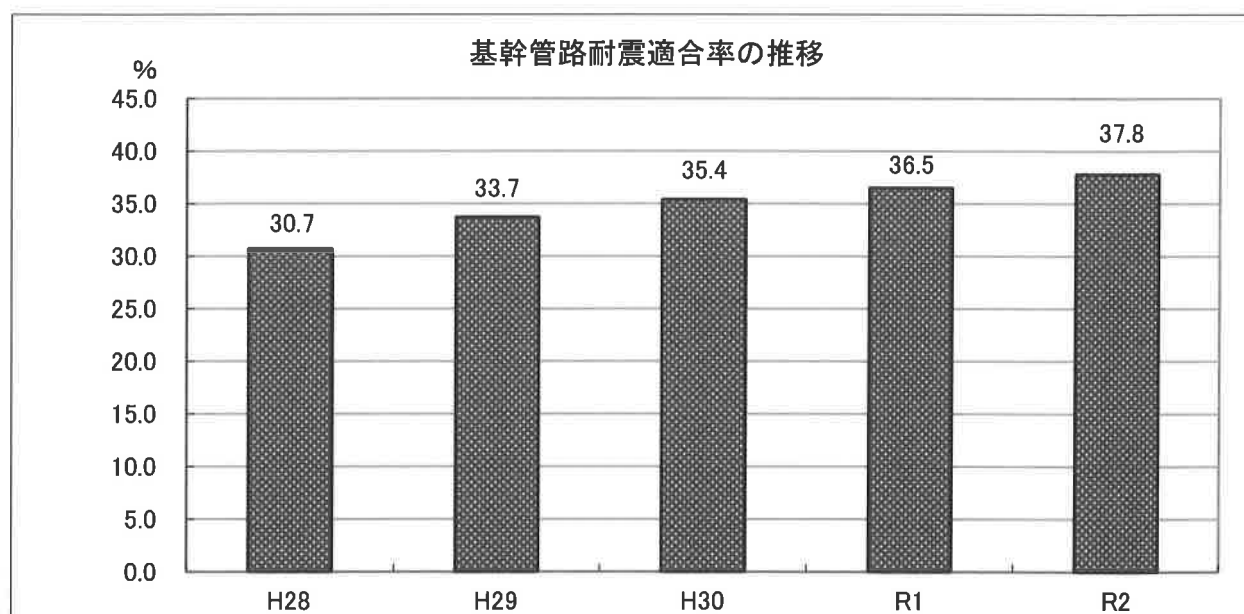
【概要及び成果】

国の交付金事業を活用し、浄水場から病院や避難所等の重要給水施設への基幹管路を優先的に整備することにより、災害時のリスク軽減を図った。

布設延長 φ75～250mm L=2,589m

令和2年度末の基幹管路耐震適合率37.8%（目標値36.5%）

※基幹管路総延長528.5kmのうち199.6kmの耐震化が完了



【課題及び今後の方向性】

第2次中期経営計画では、大口径管や病院・避難所等への配水管などの基幹管路の耐震化により、災害時のリスクを軽減する取り組みを進めることとしており、令和2年度の基幹管路耐震適合率は目標値を上回っていることから、第2次中期経営計画の最終年度である令和4年度の基幹管路耐震適合率（39.0%）は達成する見込みとなっている。

* 基幹管路耐震適合率は、レベル2地震動（震度6強以上）での耐震性能を基準として算出。
基幹管路以外の配水支管の耐震適合率はレベル1地震動（震度6弱以下）での耐震性能を基準としており、同様の基準で基幹管路を算出した場合の耐震適合率は90.7%となる。

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
◎ 経年管更新事業 (その他管路耐震化事業)	507,889	436,064	△ 71,825
経費内訳			
導管本支管	436,064		
【特定財源】 工事負担金	85,164		
【目的】 老朽化した水道管の更新を行い、有収率を維持することで、安全で安定した給水を図る。			
【概要及び成果】 漏水事故歴のある管路や計画耐用年数を基準として、埋設年度の古い管路を選定し更新を進めた。 布設延長 φ50～250mm L=5,344m			
【課題及び今後の方向性】			
<p>これまでの漏水履歴や埋設管の状態から、埋設年度の古い管路においても一定の健全性が確認できたことから、アセットマネジメントの見直し時に計画耐用年数の延長を図ることが可能か検討する。</p>			

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
設 計 業 務	51,498	20,465	△ 31,033
経費内訳			
導管本支管	20,465		
【目的】 水道本支管工事の設計を行い、設計図及び設計書を作成する。			
【概要及び成果】 CAD設計積算システムを使用して設計積算を行うとともに、業務の一部について業務委託により実施した。前年度にシステムサーバーOSのサポート終了に伴うCAD設計積算システムの更新が完了したことにより、事業費が減少した。			
＜主な費用＞			
導管本支管	本支管工事設計業務委託料		17,705 千円

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較
その他建設改良費	1,895,655	2,408,753	513,098

経費内訳

建物	509,714	水道メーター	3,487
機械装置	1,448	導管本支管	478,493
車両運搬具	1,642	導管給水管	268,386
工具器具備品	22,961	企業債償還金	1,122,622
【特定財源】			
補助金	29,757	繰入金	112,901
工事負担金	332,397		

【概要及び成果】

<主な費用>

職員給与費（設計監督業務に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	12人	43,873	28,865	0	15,148	87,886
2年度	12人	46,078	29,785	0	15,538	91,401
比較	0人	2,205	920	0	390	3,515

建物	庁舎新築工事費	472,310 千円
	地中熱融雪設備設置工事	36,838 千円
工具器具備品	新庁舎関連工具器具備品費	20,885 千円
	事務用パソコン8台更新費	1,106 千円
導管本支管	下水道関連工事など導管本支管工事費	401,177 千円
	布設延長 L=9,680m	
企業債償還金	財務省	604,039 千円
	地方公共団体金融機構	487,315 千円
	市内金融機関	31,268 千円

4 第2次水道事業中期経営計画との比較

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
経年管更新率	%	74.0	74.5	0.5	↑	計画では更新が必要な管路延長166kmに対し、122.9kmの更新としていたが、工事の前倒しにより更新の進捗を図ったほか、需要の減少により不用となった管路の廃止を行った結果123.7kmを更新したことから、計画値を上回った。
基幹管路耐震適合率	%	36.5	37.8	1.3	↑	病院や避難所等への基幹管路の更新を優先的に進めたほか、施設の廃止等に伴う管路の廃止を行ったことから、計画値を上回った。
有収率	%	91.9	94.1	2.2	↑	配水ブロックごとの有収率管理を行い、漏水の早期発見・修繕を実施したことにより計画値を上回り高い有収率を維持した。
水源保全投資額	円/m ³	0.09	0.04	△ 0.05	↓	水源保護地域啓発看板設置業務委託の入札差金により費用は減少したが、看板の設置は予定通り5か所実施した。
職員資格取得度	件/人	1.93	2.29	0.36	↑	職員へ資格取得を奨励するとともに、ガス水道技術の向上に寄与する技術資格取得に係る助成措置を継続して実施し、職員の資格取得件数が増加したことから、計画値を上回った。
水質に対する苦情割合	件/1,000件	1.00以下	0.17	△ 0.83	↑	老朽化した配水管の更新の進捗により、水質も改善されていることなどから苦情件数が減少した。

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
鉛製給水管残存率	%	1.6	1.6	0.0	→	—
損益勘定所属職員 1人当たり有収水量	千m ³ /人	316.0	321.5	5.5	↑	職員数が1人減少し、有収水量も計画よりも増加したため、計画値を上回った。
経常収支比率	%	120.3	121.7	1.4	↑	経常収益は給水収益が計画よりも減少したものの、管路更新に伴い修繕費などの支出が減少したため、計画値を上回った。
給水収益に対する 企業債利息割合	%	5.8	5.8	0.0	→	—
給水収益に対する 企業債残高割合	%	291.7	294.9	3.2	↓	企業債の新規借入を抑制したが、有収水量の減少により給水収益が計画よりも下回ったため、計画値を下回った。
収納率	%	99.5	99.7	0.2	↑	口座振替を推進するなど現年度分料金の確実な納付を促すほか、分割納付や供給停止処分など、個別の状況に応じた収納対策を継続的に実施した結果、計画値を上回った。
配水量1m ³ 当たり 二酸化炭素排出量	g・CO ₂ /m ³	148.8	140.0	△ 8.8	↑	適正かつ効率的な配水運用を行うことで、電気使用量を削減し、二酸化炭素排出量の低減を図った。

※計画対比： ↑ 計画を上回っている

↓ 計画を下回っている

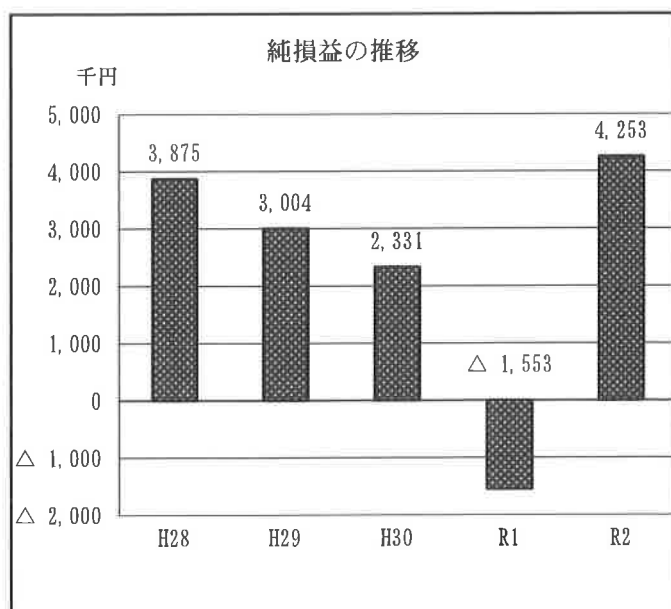
所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第79号
提出課	経営企画課

令和2年度上越市工業用水道事業会計決算の概要

- 収益的収支では、収入は責任水量制を採用していることから料金収入は安定しているものの、前年度に比べ長期前受金戻入が減少したことから387万円（20.0%）減少となった。費用については固定資産除却費が減少となったことから968万円（46.2%）減少となり、当年度純損益は前年度に比べ580万円増の425万円の純利益を計上した。
- 資本的支出では、深井戸水中ポンプの購入などを行い、安定した給水の確保に努めた。

1 業務の概要

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 給水事業所数 箇所	1	1	1	1	1	0	0.0%
2 施設能力 m ³ /日	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	0	0.0%
3 年間配水量 m ³	545,956	542,507	539,731	538,255	544,367	6,112	1.1%
4 年間有収水量 m ³	545,956	542,507	539,731	538,255	544,367	6,112	1.1%
5 一日平均配水量 m ³	1,496	1,486	1,479	1,471	1,491	20	1.4%
6 一日平均有収水量 m ³	1,496	1,486	1,479	1,471	1,491	20	1.4%
7 有収率 %	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0	0.0%
8 職員数 人	1	1	1	1	1	0	0.0%



2 決算の概要 ※消費税及び地方消費税抜きの金額

(1) 収益的収支

単位：千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収 入	営業収益	15,510	15,510	15,510	15,552	15,438	△ 114	△ 0.7%
	給水収益	15,510	15,510	15,510	15,552	15,438	△ 114	△ 0.7%
	営業雑収益	0	0	0	11	0	△ 11	皆減
	営業外収益	439	438	460	3,833	83	△ 3,750	△ 97.8%
	受取利息	5	5	5	5	1	△ 4	△ 80.0%
	長期前受金戻入	217	217	217	3,828	78	△ 3,750	△ 98.0%
	その他の営業外収益	217	216	238	0	4	4	皆増
収 入 計	15,949	15,948	15,970	19,396	15,521	△ 3,875	△ 20.0%	
支 出	営業費用	12,074	12,944	13,639	20,949	11,268	△ 9,681	△ 46.2%
	職員給与費	6,845	6,986	7,674	5,208	5,708	500	9.6%
	(うち退職給付費)	(0)	(0)	(364)	(559)	(186)	(△ 373)	△ 66.7%
	修繕費	430	554	95	190	25	△ 165	△ 86.8%
	動力費	2,033	2,391	2,923	2,947	2,625	△ 322	△ 10.9%
	減価償却費	2,443	2,655	2,588	2,358	2,191	△ 167	△ 7.1%
	その他の営業費用	323	358	359	10,246	719	△ 9,527	△ 93.0%
支 出 計	12,074	12,944	13,639	20,949	11,268	△ 9,681	△ 46.2%	
収支差引(純損益)	3,875	3,004	2,331	△ 1,553	4,253	5,806	373.9%	

(2) 資本的収支

単位：千円

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
支 出	建設改良費	0	2,166	0	0	1,605	1,605	皆増
	機械装置	0	577	0	0	1,064	1,064	皆増
	水道メーター	0	0	0	0	541	541	皆増
	ソフトウェア	0	1,589	0	0	0	0	0.0%
支 出 計	0	2,166	0	0	0	1,605	1,605	皆増
差 引 不 足 額	0	2,166	0	0	0	1,605	1,605	皆増
	(0)	(2,166)	(0)	(0)	(0)	(1,605)	(1,605)	(皆増)
補 填 財 源	過年度分損益勘定留保資金	0	2,166	0	0	1,605	1,605	皆増
	計	0	2,166	0	0	1,605	1,605	皆増

※括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の不足額

令和2年度決算の状況

【税抜：万円未満省略】

収益的収支

資本的収支

収入：1,552万円

支出：1,126万円

収入：0円

支出：160万円

水道料金収入 1,544万円
長期前受金戻入など 8万円

人件費 570万円
修繕費 2万円
動力費 262万円
委託料など 71万円
減価償却費 219万円
収支差引額（利益） 425万円

収支不足額 160万円
留保資金等 補填財源 (減価償却費から長期前受金戻入 分の金額を除いた額)

建設改良費 160万円

減価償却費等の損益勘定留保資金等で補填する。

3 決算主要項目の内容

(1) 収益的収支

単位：千円

(収益的収入) 予 算 額	決 算 額	予算額と決算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳		
			営業収益	営業雑収益	営業外収益
17,328	17,065	△ 263	△ 79	0	△ 184
(収益的支出) 予 算 額	決 算 額	不 用 額	不用額の内訳		
			営業費用	営業外費用	
14,041	12,651	1,390	1,390	0	

(2) 資本的収支

単位：千円

(資本的支出) 予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	不用額の内訳
				建設改良費
4,162	1,766	0	2,396	2,396

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているので、上表の金額とは異なる

①収益的収入

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
給 水 収 益	15,552	15,438	△ 114

○工業用水道口径別使用量・料金実績

1) 事業所数

単位：社；件

口 径	元年度		2年度		増 減		増 減 率	
	年度末社数	年間延件数	年度末社数	年間延件数	年度末社数	年間延件数	年度末社数	年間延件数
150mm	1	12	1	12	0	0	0.0%	0.0%

2) 使用量

単位：m³

口 径	使 用 量		増 減	増 減 率	1 か月 1 社 当 たり 使 用 量		
	元年度	2年度			元年度	2年度	増減率
150mm	538,255	544,367	6,112	1.1%	44,855	45,364	1.1%

3) 料金

単位：円

口 径	料 金		増 減	増 減 率	1 か月 1 社 当 たり 使 用 料		
	元年度	2年度			元年度	2年度	増減率
150mm	15,552,000	15,437,677	△ 114,323	△0.7%	1,296,000	1,286,473	△0.7%

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
営 業 雑 収 益	11	0	△ 11

・令和元年度は工事設計審査手数料を計上したが、令和2年度は営業雑収益がないため皆減

単位：千円

項 目	元年度決算	2年度決算	比 較
営 業 外 収 益	3,833	83	△ 3,750

単位：千円

		元年度	2年度	比 較
受 取 利 息	預金利息	5	1	△ 4
長期前受金戻入	長期前受受贈財産評価額戻入	3,828	78	△ 3,750
雑 収 益	損害共済金還付金等	0	4	4
合 計		3,833	83	△ 3,750

②収益的支出及び資本的支出

単位：千円

事業名	元年度決算	2年度決算	比較			
工業用水道事業	20,949	12,873	△ 8,076			
経費内訳						
給料	2,810	光熱燃料費	27			
手当	1,406	保険料	1			
賞与引当金繰入額	367	通信運搬費	55			
法定福利費	869	委託料	197			
法定福利費引当金繰入額	70	手数料	77			
厚生福利費	8	負担金及び補助	6			
退職給付費	186	固定資産除却費	343			
備用品費	5	減価償却費	2,191			
修繕費	25	機械装置	1,064			
動力費	2,625	水道メーター	541			
【特定財源】 給水収益	12,873					
【目的】 工業用水道施設の維持管理及び定期的な点検整備により、安定した給水を確保する。						
【概要及び成果】 大潟区内の一部給水区域において、地下水を汲み上げ工業用水道として給水する。 令和元年度に浅井戸ポンプ室及び導水管の撤去工事を実施したことから事業費が減少した。						
＜主な費用＞						
職員給与費（営業費用に係る職員分）			単位：千円			
	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
元年度	1人	2,676	1,154	559	819	5,208
2年度	1人	2,810	1,773	186	939	5,708
比較	0人	134	619	△ 373	120	500
資本的支出						
機械装置	深井戸水中ポンプ購入費					1,064千円
水道メーター	電磁式メーター取替工事					541千円